Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX L810

クールピクス L810

活用ガイド

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

http://www.mpegla.comをご参照ください。

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX L810をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」（🕮vi）をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

箱の中身をご確認ください

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

COOLPIX L810
カメラ本体

ストラップ

アルカリ単3形電池
（4本）※

レンズキャップ LC-CP25
（レンズキャップ用ひも付）

USB ケーブル
UC-E16

AV ケーブル
EG-CP16

ViewNX 2 Installer CD
（ViewNX 2
インストーラー CD）

活用ガイド CD

- 使用説明書
- 保証書
- 登録のご案内

※ 付属の電池はお試し用の電池です。

- メモリーカードは付属していません。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（□9）をご覧ください。
また、カメラ各部の名称や液晶モニターの表示については、「各部の名称」（□1）をご覧ください。

●本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
✎	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□/⚯/☼	関連情報が記載されているページです。⚯は「詳細編」、☼は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、［**オープニング画面**］（□88）の［**撮影した画像**］も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は以下のようになっています。

⚠**危険**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠**警告**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠**注意**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例
△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

 分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
 接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
 電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
 発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
 発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
 保管注意	**幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
 保管注意	**ストラップが首に巻きつかないようにすること** **特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
 警告	**指定の電池または専用AC アダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止	**通電中のカメラに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
使用禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、レンズにキャップをつけて太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする** **病院では、病院の指示に従う** 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池やACアダプター）を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。 AC アダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります。

禁止

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと

機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠注意
（3D画像について）

使用注意

本機器で撮影した3D画像をテレビまたはモニターなどで長時間続けて視ない

特に視覚の発達段階にある幼児は、事前に小児科や眼科などの医師の指示に従う

眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。
症状が出たときは、3D画像の閲覧をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。

⚠危険
（リチウム電池、アルカリ電池について）

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（リチウム電池、アルカリ電池について）

警告

外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池を分解しない

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告、注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

 保管注意	**電池は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
 警告	**電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
 禁止	**充電池以外は充電しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。
 警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠警告
（アルカリ電池について）

 警告	**使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠危険
（ニッケル水素充電池について）

 使用禁止	**リチャージャブルバッテリー EN-MH2 は、COOLPIX用Ni-MH 電池を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電池で COOLPIX L810 に対応しています** **EN-MH2 に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 危険	**専用のチャージャーを使用して4本セットで同時に充電すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 危険	**電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止	**電池を分解しない** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**新しい電池と使用した電池、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因になります。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告

（ニッケル水素充電池について）

警告	**外装チューブを外したり、傷をつけないこと** **また、外装チューブがはがれたり、傷がついている電池は絶対に使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告、注意を守ること** 液もれ、破裂、発火の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
保管注意	**電池は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコン サービス機関またはリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠注意

（ニッケル水素充電池について）

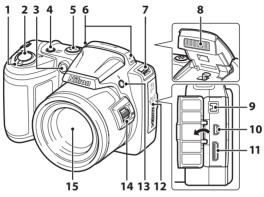
注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

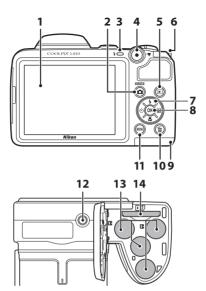
目次

各部の名称

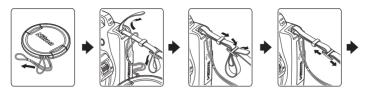
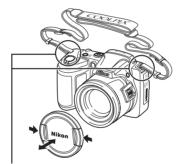
この章では、各部の名称や、液晶モニターの表示について説明しています。

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（9）をご覧ください。

カメラ本体

1	ズームレバー .... 24 **W** ：広角ズーム.............................. 24 **T** ：望遠ズーム.............................. 24 ▦ ：サムネイル表示.................... 69 Q ：拡大 .... 68 ? ：ヘルプ 35
2	シャッターボタン........................... 26
3	セルフタイマーランプ.................... 55 AF補助光... 88
4	電源スイッチ/電源ランプ............. 20
5	スピーカー 84
6	マイク（ステレオ）......................... 80

7	ストラップ取り付け部......................4
8	フラッシュ .... 5、51
9	DC入力端子（別売ACアダプター接続用）............................. 12、⚯70
10	USB/オーディオビデオ出力端子...71
11	HDMIミニ端子（Type C）..............71
12	端子カバー.......................................71
13	⚡（フラッシュポップアップ）ボタン .... 5、51
14	サイドズームレバー 24
15	レンズ

1	液晶モニター	6	8	Ⓚ（決定）ボタン	
2	📷（撮影モード）ボタン	34、35、44、48	9	電池/SDカードカバー	10、13
3	フラッシュランプ	52	10	🗑（削除）ボタン	31
4	●（🎥動画撮影）ボタン	80	11	MENU（メニュー）ボタン	46、49、70、83、88
5	▶（再生）ボタン	29	12	三脚ネジ穴	☼18
6	ストラップ取り付け部	4	13	電池室	10
7	マルチセレクター		14	SDカードスロット	13

ストラップとレンズキャップの取り付け方

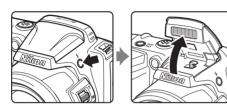
レンズキャップをストラップに取り付けてから、ストラップをカメラに取り付けます。

2カ所に取り付けます。

レンズキャップについて

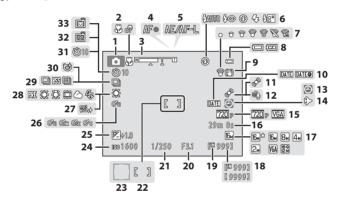
- 撮影するときはレンズキャップを外してください。
- 電源をOFFにしているときや持ち運び中など、撮影していないときはレンズキャップをカメラに取り付けてレンズを保護してください。

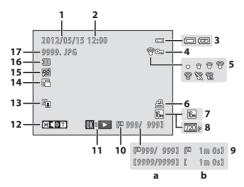
フラッシュのポップアップと収納

⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押すと、フラッシュがポップアップします。

- フラッシュの設定方法 →「フラッシュを使う（フラッシュモード）」（□51）
- フラッシュを使わないときは、カチッと音がするまでフラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。

液晶モニターの表示内容

- 撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。
  初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（［**モニター設定**］（□88）→［**モニター表示設定**］→［**情報AUTO**］時）。

撮影モード

1 撮影モード............34、35、44、48
2 マクロモード................................57
3 ズーム表示............................24、57
4 AF表示.. 26
5 AE/AF-L表示...............................E3
6 フラッシュモード.......................... 51
7 Eye-Fi通信表示.............................. 89
8 電池残量表示 21
9 手ブレ補正表示.............................. 88
10 デート写し込み.............................. 88
11 モーション検知表示...................... 88
12 風切り音低減 83
13 日時未設定...............19、88、E71
14 訪問先.. 88
15 動画設定.. 83
16 記録可能時間（動画）.................... 82
17 画像モード.................................... 62
18 記録可能コマ数（静止画）............21
19 内蔵メモリー表示..........................21
20 絞り値..27
21 シャッタースピード......................27
22 AFエリア ....23、26
23 AFエリア（顔認識時、ペット検出時）........................23、26
24 ISO感度表示..................................49
25 露出補正値 59
26 ピクチャーカラー..........................49
27 美肌効果 46
28 ホワイトバランス..........................49
29 連写モード 49
30 目つぶり軽減..................................46
31 セルフタイマー..............................55
32 笑顔自動シャッター......................46
33 ペット自動シャッター 42

再生モード

1	撮影日 16	10	内蔵メモリー表示 29
2	撮影時刻 16	11	動画再生ガイド 84
3	電池残量表示 21	12	音量表示 85
4	プロテクト表示 70	13	D-ライティング済み表示 70
5	Eye-Fi通信表示 89	14	スモールピクチャー 70
6	プリント指定表示 70	15	美肌編集済み表示 70
7	画像モード 62	16	3D画像表示 43
8	動画設定 83	17	ファイル名 .... ⚯68
9	(a) 画像の番号/全画像数 .... 29 (b) 動画の再生時間 84		

撮影と再生の基本ステップ

準備

撮影

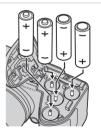
再生

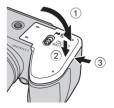
準備1　電池を入れる

1　電池/SDカードカバーを開ける

- 電池/SDカードカバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

2　電池を入れる

- 電池室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。

3　電池/SDカードカバーを閉じる

- ②の部分をしっかり押さえながら、スライドさせてください。

使用できる電池について

- アルカリ単3形電池（LR6）（付属の電池）×4本
- リチウム単3形電池（FR6/L91）×4本
- Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2（ニッケル水素充電池）×4本

※ Ni-MHリチャージャブルバッテリー EN-MH1は使えません。

電池を取り出すときは

- 電池/SDカードカバーを開ける前に電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してください。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、SD カードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

電池についてのご注意

- 「安全上のご注意」の「危険」、「警告」、「注意」（□ix～xii）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（☼2～☼5）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- 新しい電池と使いかけの電池を混ぜたり、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 以下のような電池は使用しないでください。

外装シールの一部またはすべてがはがれている電池　**マイナス電極の一部が突き出ていて、外装シールが側面にしかない電池**　**マイナス電極が平らな電池**

電池設定について

電池の種類に合わせてセットアップメニュー（□88）の［**電池設定**］を選ぶと、効率よく電池を使用できます。
初期設定は［**アルカリ電池**］です。アルカリ電池以外の電池を使うときは、電源をONにしてから電池設定を変更してください。

Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2をお使いの方へのご注意

COOLPIX L810にEN-MH2を使う場合は、バッテリーチャージャー MH-73で4本同時に充電してください（□89、⊶70）。

アルカリ電池の性能について

アルカリ電池はメーカーにより性能が大きく異なることがあります。信頼できるメーカーの電池をお使いください。

AC電源について

- 別売のACアダプター EH-67（⊶70）を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給できます。
- EH-67以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

準備2　SDカードを入れる

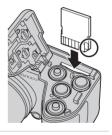
1　電源をOFFにしてから、電池/SDカードカバーを開ける

- 電源をOFFにすると、電源ランプと液晶モニターが消灯します。
- 電池/SDカードカバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

2　SDカードを入れる

- カチッと音がするまで差し込みます。

逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3　電池/SDカードカバーを閉じる

- ②の部分をしっかり押さえながら、スライドさせてください。

SDカードの初期化について

- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、このカメラで初期化してからお使いください。
- **SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内の必要なデータは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
- SDカードを初期化するには、カードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニュー（88）の［**カードの初期化**］を選びます（59）。

SDカードについてのご注意

SDカードの説明書や「取り扱い上のご注意　メモリーカードについて」（5）をご覧ください。

SDカードを取り出すときは

- 電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開けます。
  SDカードを指で軽く奥に押し込むと（①）、SDカードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約50 MB）またはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーで記録や再生をするには、SDカードを取り出してください。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

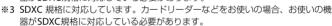
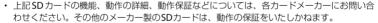
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※2	SDXCメモリーカード※3
SanDisk	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
TOSHIBA	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※1	4 GB、8 GB、12 GB、16 GB、32 GB	48 GB、64 GB
Lexar	–	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

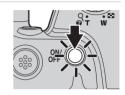
※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

※3 SDXC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

準備3　表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。

2 マルチセレクターの ▲ または ▼ で表示言語を選び、Ⓚボタンを押す

3 ▲または▼で［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

4 ◀または▶で自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、®ボタンを押す

- 夏時間（サマータイム）を設定するには、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部に🌞マークが表示されます。オフにするには▼を押します。

5 ▲または▼で日付の表示順を選び、®ボタンを押す

6 ▲、▼、◀または▶で日時を合わせ、®ボタンを押す

- 項目を選ぶ：▶または◀を押します（[**年**]、[**月**]、[**日**]、[**時**]、[**分**] に切り換わります）。
- 日時を合わせる：▲または▼を押します。
- 設定を確認する：[**分**] を選び、®ボタンを押します。

7 ▲または▼で［はい］を選び、®ボタンを押す

8 レンズキャップが外れていることを確認し、◘ボタンを押す

- レンズが繰り出し、撮影モードを選ぶ画面になります。

9 ［らくらくオート撮影］が表示されたら、Ⓚボタンを押す

- 撮影画面になり、らくらくオート撮影モードで撮影できます（□20）。
- Ⓚボタンを押す前に▲または▼を押すと他の撮影モードが選べます。

言語や日時の設定をやり直すときは

- セットアップメニュー（88）で［**言語/Language**］（60）または［**地域と日時**］（47）を設定します。
- セットアップメニュー→［**地域と日時**］（47）→［**タイムゾーン**］で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。訪問先（）のタイムゾーンを登録すると、自宅（）との時差を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。
- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面で が点滅します。セットアップメニューの［**地域と日時**］で日時を設定してください（88、47）。

時計用電池について

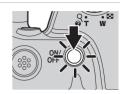
- カメラの時計は、カメラに入れる電池とは別のバックアップ用電池で動いています。
- バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、設定した日時を数日間、記憶できます。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「準備3　表示言語と日時を設定する」手順3（16）

撮影日入りの画像をプリントするには

- 撮影前に、カメラの日時を正しく設定してください。
- セットアップメニュー（88）で［**デート写し込み**］（53）を設定すると、撮影時に、画像に日付を写し込めます。
- ［**デート写し込み**］を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」（73）を使うと、日付を入れてプリントできます。

ステップ1　電源をONにして、撮影モードを選ぶ

1　レンズキャップを外して、電源スイッチを押す

- レンズが繰り出し、液晶モニターが点灯します。
- ⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押して、フラッシュをポップアップしてください（□5）。

2　📷ボタンを押す

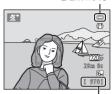
- 撮影モードを選ぶ画面（撮影モードメニュー）が表示されます。

3　マルチセレクターの ▲ または ▼ で撮影モードを選び、OKボタンを押す

- ここでは、📷（らくらくオート撮影）モードを例に説明します。

4 電池残量表示と記録可能コマ数を確認する

電池残量表示

表示	意味
▭	電池残量はあります。
▬	電池残量が少なくなりました。 電池交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。 電池を交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

- SDカードをカメラに入れていないときは、INが表示され、画像を内蔵メモリー（約50 MB）に記録します。
- 記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはSDカードのメモリー残量と、画質/画像サイズ（画像モード）で異なります（□63）。

フラッシュについて

暗いところや逆光など、フラッシュを使って撮影したいときは、⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押して、フラッシュをポップアップしてください（□5、51）。
フラッシュは、自動的にポップアップしません。閉じているときは、どのようなシーンでも発光しません。

電源のON/OFFについて

- レンズキャップを外してから、電源をONにします。
- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。
- 電源をOFFにするには、電源スイッチを押します。電源をOFFにすると、電源ランプと液晶モニターが消灯します。
- ▶（再生）ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。このとき、レンズは繰り出しません。

［レンズキャップを取り外してから、電源を入れなおしてください］が表示されたときは

レンズキャップが外れていることを確認してから、電源を入れ直してください。

節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。

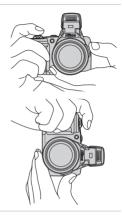
待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下のボタンのいずれかを押します。

→ 電源スイッチ、シャッターボタン、📷（撮影モード）ボタン、▶（再生）ボタン、または●（動画撮影）ボタン

- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（📖88）の［**オートパワーオフ**］で変更できます。
- 初期設定では、撮影時または再生時は、約30秒で待機状態になります。
- ACアダプター EH-67（別売）使用時は、30分（固定）で待機状態になります。

ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1　カメラをしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

2　構図を決める

- カメラが撮影シーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります（□34）。
- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます。
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、画面中央にピントを合わせるAFエリアが表示されます。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせてください。

らくらくオート撮影モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください（📖34、35、44、48）。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は📷になります。

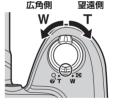
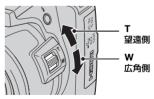
三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
  - 暗い場所で撮影するとき、フラッシュモード（📖53）を⊛（発光禁止）にして撮影するとき
  - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などに固定して撮影するときは、セットアップメニュー（📖88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。

- 被写体を大きく写す：**T**（望遠）方向に回す。
- 広い範囲を写す：**W**（広角）方向に回す。
  電源をONにしたときは、最も広角側になっています。

- サイドズームレバー（📖2）を**T**または**W**方向に操作しても、ズームの操作ができます。

- ズーム操作をすると、液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。

撮影と再生の基本ステップ

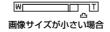
電子ズームについて

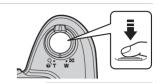
光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらにズームレバーまたはサイドズームレバーを**T**方向に操作し続けると、電子ズームが作動します。
電子ズームは、光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。

電子ズームと画質の劣化について

電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像モード（□62）や電子ズームの倍率によって、画質が劣化します。
ズーム表示の凸マークは、静止画の撮影で画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。
凸マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像モードで画質を劣化させずに静止画を撮影できるズーム位置を事前に確認できます。

画像サイズが小さい場合

ステップ3　ピントを合わせ、シャッターをきる

1　シャッターボタンを半押しする（□27）

- 顔認識した場合：
  二重枠のAFエリアで囲まれた顔にピントが合います。ピントが合うと二重枠が緑色になります。
- 顔認識していない場合：
  画面中央にピントを合わせるAFエリアが表示されます。ピントが合うとAFエリアが緑色になります。

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（□6）が緑色に点灯します。
- 半押しして、AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2　シャッターボタンを全押しする（□27）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

シャッターボタンの半押しと全押し

半押し		シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。 半押しするとピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
全押し		半押しの状態から、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。 シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/SDカードカバーを開けないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。
また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、オート撮影モードなどで、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（□66）をお試しください。

顔認識機能についてのご注意

詳しくは、「顔認識撮影について」（□65）をご覧ください。

AF補助光とフラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光（□88）が点灯することや、全押ししたときにフラッシュ（□51）が発光することがあります。

シャッターチャンスを優先する撮影では

シャッターチャンスが重要な撮影では、半押しせずに、全押ししてもシャッターをきれます。

ステップ4　画像を再生する

1　▶（再生）ボタンを押す

・ 再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を1コマ表示します。

2　マルチセレクターで前後の画像を表示する

・ 前の画像を表示する：▲または◀
・ 次の画像を表示する：▼または▶

・ 内蔵メモリーに保存した画像を再生するときは、SDカードを取り出します。「画像の番号/全画像数」にINが表示されます。
・ 撮影に戻るには、◘ボタン、シャッターボタン、または●（動画撮影）ボタンを押します。

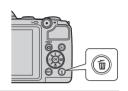
画像の再生について

- 前後の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 顔認識（□65）またはペット検出（□42）して撮影した画像は、再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます。

関連ページ

- 拡大表示→□68
- サムネイル表示/カレンダー表示→□69
- 再生モードで使える機能（再生メニュー）→□70

ステップ5　画像を削除する

1　削除したい画像を表示して🗑ボタンを押す

2　マルチセレクターの▲または▼で削除方法を選び、Ⓚボタンを押す

- ［**表示画像**］：表示している1コマを削除します。
- ［**削除画像選択**］：複数の画像を選んで削除します（📖32）。
- ［**全画像**］：すべての画像を削除します。
- 削除をやめるには、MENUボタンを押します。

3　▲または▼で［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- 削除した画像は、もとに戻せません。
- 削除をやめるときは、▲または▼で［**いいえ**］を選び、Ⓚボタンを押します。

削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセレクターの◀または▶で削除したい画像を選び、▲で✔を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して✔を非表示にします。
- ズームレバー（📖2）を**T**（🔍）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと一覧表示に切り換わります。

2 削除したい画像すべてに✔を表示し、ⓚボタンを押して選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せません。残しておきたい画像はパソコンなどに保存することをおすすめします。
- プロテクト設定（📖70）した画像は、削除されません。

撮影モードで画像を削除する

撮影モードで🗑ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

いろいろな撮影

この章では、各撮影モードの特徴や、撮影モードで使える機能などを説明しています。
撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変えると、撮影方法や画像の仕上がりを工夫できます。

(らくらくオート撮影)モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに合った設定で撮影ができます。

撮影画面にする ➔ (撮影モード)ボタン ➔ (らくらくオート撮影)モード ➔ Ⓚボタン

自動判別するシーンについて

カメラを被写体に向けると、以下の撮影シーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。

- ポートレート(□36)
- 風景(□36)
- 夜景ポートレート(□37)
- 夜景 (□39)
- クローズアップ(□39)
- 逆光(□40)
- その他の撮影シーン

(らくらくオート撮影)モードの設定を変える

- 判別されるシーンによっては、マルチセレクターの▲()、◀()または▶()の機能を設定できます。→「マルチセレクターで設定できる機能」(□50)、「初期設定一覧」(□60)
- MENUボタンで設定できる機能→画像サイズと画質の組み合わせ(画像モード)を設定できます(□62)。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを以下から選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ ⛹（上から2番目のアイコン※）➔ ▶ ➔ ▲、▼、◀、▶ ➔ シーンを選択する ➔ ⓚボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

ポートレート（初期設定）（□36）	風景（□36）	スポーツ（□37）	夜景ポートレート（□37）
パーティー（□37）	ビーチ（□38）	雪（□38）	夕焼け（□38）
トワイライト（□38）	夜景（□39）	クローズアップ（□39）	料理（□39）
ミュージアム（□40）	打ち上げ花火（□40）	モノクロコピー（□40）	逆光（□40）
パノラマアシスト（□41）	ペット（□42）	3D 3D撮影（□43）	

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンを選ぶ画面でシーンの種類を選び、ズームレバー（□2）を**T**（?）方向に回すと、そのシーンの説明を表示できます。もとの画面に戻るには、もう一度ズームレバーを**T**（?）方向に回します。

シーンモードの設定を変える

- シーンによっては、マルチセレクターの▲（⚡）、▼（🌷）、◀（⏲）または▶（☒）の機能を設定できます。→「マルチセレクターで設定できる機能」（□50）、「初期設定一覧」（□60）
- MENUボタンで設定できる機能→画像サイズと画質の組み合わせ（画像モード）を設定できます（□62）。

シーンモードの種類と特徴

ポートレート

人物のポートレート撮影に使います。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（□65）。
- 美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにします（□47）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□7）が緑色に点灯します。

囚：囚が記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

🏃 スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 連写するには、シャッターボタンを全押しし続けます。約 1.2 コマ / 秒の速さで約 4 コマまで連写できます（[**画像モード**] が 16M のとき）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。

夜景ポートレート

夕景や夜景を背景にした人物撮影に使います。背景の雰囲気を活かしながら人物をフラッシュ撮影します。

- フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（□65）。
- 美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにします（□47）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

🏖 ビーチ

晴天の海や砂浜、湖などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

⛄ 雪

晴天の雪景色を明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

🌅 夕焼け ⛺

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

🌆 トワイライト ⛺

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- シャッターボタンを半押しすると、常にAFエリアまたはAF表示（□7）が緑色に点灯します。

⛺：⛺が記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

夜景

遅いシャッタースピードで夜景の雰囲気を表現します。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□7）が緑色に点灯します。

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。
- マクロモード（□57）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。フォーカスロックを使うと、構図を工夫して撮影できます（□66）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

料理

料理の撮影に使います。
- マクロモード（□57）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。

- 色合いをマルチセレクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。フォーカスロックを使うと、構図を工夫して撮影できます（□66）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

🏛 ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている1コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセレクター））。

打ち上げ花火 [三脚]

遅いシャッタースピードで、打ち上げ花火を撮影します。

- ピントは、遠景に固定されます。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（□7）が緑色に点灯します。

❏ モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（□57）を併用してください。

逆光

逆光状態での撮影に使います。フラッシュが常に発光し、人物が陰にならずに撮影できます。

- フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

いろいろな撮影

[三脚]：[三脚]が記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

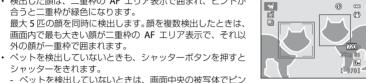
皿 パノラマアシスト

パノラマ写真用の画像を複数撮影し、パソコンでパノラマ写真に合成したいときに使います（⚯2）。

- 画像をつなげる方向をマルチセレクターの ▲▼◀▶ で選び、㊫ ボタンを押します。
- 1 コマ目を撮影したら、画面の表示でつなぎ目を確認しながら必要なコマ数を撮影します。撮影を終了するには、㊫ ボタンを押します。
- 撮影した画像は、パソコンに取り込んで、ソフトウェア「Panorama Maker 6」（□75、⚯4）で合成してください。

ペット

犬または猫の撮影に使います。カメラが犬または猫の顔を検出し、その顔にピントを合わせます。ピントが合うと、初期設定では自動でシャッターをきります（ペット自動シャッター）。

- シーンモードの ［**ペット**］を選ぶと表示される画面で、［**単写**］または［**連写**］を選びます。
  - ［**単写**］：1 コマずつ撮影します。
  - ［**連写**］：検出した顔にピントが合うと、3 コマ連写します（連写速度：［**画像モード**］が［**4608 × 3456**］のとき約 1.2 コマ / 秒）。
- 検出した顔は、二重枠の AF エリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が緑色になります。
  最大 5 匹の顔を同時に検出します。顔を複数検出したときは、画面内で最も大きい顔が二重枠の AF エリア表示で、それ以外の顔が一重枠で囲まれます。

- ペットを検出していないときも、シャッターボタンを押すとシャッターをきれます。
  - ペットを検出していないときは、画面中央の被写体でピントを合わせます。
  - ［**連写**］設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、最大約 1.2 コマ / 秒で約 4 コマ連写できます（［**画像モード**］が［**4608 × 3456**］のとき）。
- マルチセレクターの ◀（）を押すと、自動シャッターの設定を変更できます。［**OFF**］にするとシャッターボタンのみでシャッターをきります。
- 以下の場合は［**ペット自動シャッター**］が自動的に［**OFF**］になります。
  - 自動シャッターによる連写を 5 回繰り返したとき
  - 撮影中に内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなったとき

  ［**ペット自動シャッター**］での撮影を続けるときは、マルチセレクターの◀（）を押し、再設定してください。
- 電子ズームは使えません。
- ペットとの距離、ペットの動く速さ、顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、犬や猫を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。

3D 3D撮影

3D対応のテレビやモニターで、立体で表示可能な3D画像の撮影に使います。立体で表示するため、左目用と右目用の2コマを撮影します。
保存される画像サイズは16:9 2M（1920×1080）になります。

- 1 コマ目を撮影したら、画面のガイドに被写体が重なるようにカメラを右に水平移動します。2 コマ目は自動的にシャッターがきれます。
- ピントは、1 コマ目の撮影時に画面中央のエリアで合わせます。
  2 コマ目は、1 コマ目と同じピントと露出およびホワイトバランスで撮影します。
- 電子ズームは使えません。
- 望遠側のズーム位置は、35mm 判換算で 132 mm 相当の撮影画角までに制限されます。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 撮影した 2 コマは、左目用と右目用を含む 3D 画像（MPO ファイル）として保存されます。このとき、1 コマ目（左目用）の JPEG ファイルも同時に保存されます。
- カメラのモニターでは 3D（立体）で再生できません。左目用の画像のみで再生されます。
- 3D 画像を 3D（立体）で再生するには、カメラと 3D 対応のテレビまたはモニターを、3D 対応の HDMI ケーブルで接続し、セットアップメニュー（□88）の［**TV 出力設定**］は、以下に設定してください。
  - ［**HDMI**］：［**オート**］（初期設定）または［**1080i**］
  - ［**HDMI 3D 出力**］：［**ON**］（初期設定）
- 3D 画像を 3D（立体）で再生しているときは、3D 以外の画像との表示の切り換えに時間がかかることがあります。
- 3D 画像の撮影方法→ ⊶5

3D再生についてのご注意

3D画像を3D対応のテレビまたはモニターで長時間見続けると、眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。お使いのテレビまたはモニターの説明書をよくご覧になり、適切に使用してください。

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにできます。

撮影画面にする ➔ 🔲（撮影モード）ボタン ➔ 🔲 ベストフェイスモード➔ Ⓚボタン

1 構図を決める

- フラッシュを使うときは、フラッシュをポップアップします（□5）。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。

2 シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- ［**笑顔自動シャッター**］（□46、⊶28）により、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。

3 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、以下のいずれかの操作を行います。
  - 電源をOFFにする
  - ［**笑顔自動シャッター**］（□46、⊶28）を［**OFF**］にする
  - 🔲ボタンを押して他の撮影モードに切り換える

ベストフェイスモードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識機能についてのご注意」→□65

笑顔自動シャッター使用時の節電機能について

［**笑顔自動シャッター**］が［**ON**］のときは、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（□88）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

手動でシャッターをきるには

シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

ベストフェイスモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（□50）→フラッシュモード（□51）、セルフタイマー（□55）、露出補正（□59）
- MENUボタンで設定できる機能→ベストフェイスメニューの種類（□46）

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□64）。

ベストフェイスメニューの種類

ベストフェイスモードでは、以下の項目の設定が変更できます。

ベストフェイスモードの撮影画面にする（44）➔ MENUボタン ➔ タブ

項目	内容	
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます（62）。設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。	62
美肌効果	美肌の効果を設定します。人物の肌（顔）をなめらかにします。初期設定は［**ON**］です。	27
笑顔自動シャッター	［**ON**］（初期設定）にすると、顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。セルフタイマーは同時に使えません。	28
目つぶり軽減	［**ON**］にすると、撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。 ［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。 初期設定は［**OFF**］です。	28

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（64）。

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で肌（顔）をなめらかにします。

- 🅂（らくらくオート撮影）モードの［**ポートレート**］（□36）または［**夜景ポートレート**］（□37）
- シーンモードの［**ポートレート**］（□36）または［**夜景ポートレート**］（□37）
- ベストフェイスモード（□44）

撮影後にも、記録した画像に美肌の編集ができます（□70、⚯11）。

美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

◘（オート撮影）モード

基本的な撮影ができます。また、撮影メニュー（□49）の項目を撮影状況や撮影意図に合わせて設定できます。

撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ ◘（オート撮影）モード ➔ ⓚボタン

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

◘（オート撮影）モードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（□50）→フラッシュモード（□51）、セルフタイマー（□55）、マクロ（□57）、露出補正（□59）
- MENUボタンで設定できる機能→オート撮影メニューの種類（□49）

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□64）。

オート撮影メニューの種類

（オート撮影）モードでは、以下の項目の設定が変更できます。

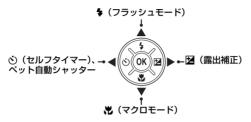
（オート撮影）モードの撮影画面にする（48）→ MENUボタン → タブ

項目	内容	
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます（62）。この設定は、他の撮影モードにも適用されます。	62
ホワイトバランス	画像を見た目に近い色で記録するように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。［**オート**］（初期設定）、［**プリセットマニュアル**］、［**晴天**］、［**電球**］、［**蛍光灯**］、［**曇天**］または［**フラッシュ**］から選べます。	29
連写	連続撮影の設定をします。［**単写**］（初期設定）、［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］から選べます。	32
ISO感度設定	被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。［**オート**］（初期設定）または［**80**、**100**、**200**、**400**、**800**、**1600**］から選んで固定できます。［**オート**］では、カメラが自動でISO感度を設定し、ISO感度が高くなると撮影画面にISOが表示されます。	33
ピクチャーカラー	画像の色調を、［**標準カラー**］（初期設定）、［**ビビッドカラー**］、［**白黒**］、［**セピア**］または［**クール**］から選べます。	34

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（64）。

マルチセレクターで設定できる機能

撮影時にマルチセレクターの▲、▼、◀、▶を押すと、以下の機能を設定できます。

設定できる機能の種類

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。

- 各撮影モードの初期設定は「初期設定一覧」（□60）をご覧ください。

		（らくらくオート撮影）	シーン	ベストフェイス	（オート撮影）
	フラッシュモード※1（□51）	○※2		○※4	○
	セルフタイマー（□55）	○		○※4	○
	ペット自動シャッター（□42）	×	※3	×	×
	マクロ（□57）	×		×	○
	露出補正（□59）	○		○	○

※1 フラッシュをポップアップすると設定できます。フラッシュを閉じているときは （発光禁止）に固定されます。

※2 自動判別されるシーンによって異なります。→「初期設定一覧」（□60）

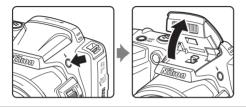
※3 シーンによって異なります。→「初期設定一覧」（□60）

※4 ベストフェイスメニューの設定によって異なります。→「初期設定一覧」（□60）

フラッシュを使う（フラッシュモード）

暗いところや逆光などでは、フラッシュをポップアップするとフラッシュ撮影ができます。フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を設定できます。

1 ⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押す

- フラッシュがポップアップします。
- フラッシュを閉じているときは⊛（発光禁止）に固定されます。

2 マルチセレクターの▲（⚡ フラッシュモード）を押す

3 マルチセレクターの▲または▼でモードを選び、OKボタンを押す

- フラッシュモードの種類→□53
- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- AUTO（自動発光）にすると［**モニター設定**］（□88、➡51）にかかわらず、AUTOは数秒間で消えます。

いろいろな撮影

フラッシュの収納

フラッシュを使わないときは、カチッと音がするまでフラッシュを手で軽く押し下げ、閉じてください（□5）。

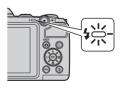
フラッシュランプについて

シャッターボタンの半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュが充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

電池残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュの光が届く距離

フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.5～5.0 m、望遠側で約1.5～2.5 mです（ISO感度設定がオート時）。

フラッシュモードの種類

AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
赤目	**赤目軽減自動発光**
	人物撮影に適しており、フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します（□54）。
禁止	**発光禁止**
	フラッシュは発光しません。 • 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
強制	**強制発光**
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
スロー	**スローシンクロ**
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。 夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 設定は、撮影モードによって異なります。
  →「設定できる機能の種類」（□50）
  →「初期設定一覧」（□60）
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□64）。
- （オート撮影）モードの場合、変更したフラッシュモード設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「**アドバンスト赤目軽減方式**」を採用しています。
フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。
さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してから、シャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押してから約10秒後にシャッターをきります。
自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときに使うと便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

1 マルチセレクターの◀（ セルフタイマー）を押す

2 マルチセレクターの▲または▼で [**ON**] を選び、ボタンを押す

- 10が表示されます。
- ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの［**ペット**］のときは、（ペット自動シャッター）が表示されます（□42）。セルフタイマーは使えません。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

いろいろな撮影

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

マクロ（接写）モードを使う

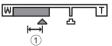
最短で、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。
草花などの小さな被写体を大きく写したいときなどに便利です。

1 マルチセレクターの▼(🌷 マクロモード)を押す

2 マルチセレクターの▲または▼で[ON]を選び、Ⓚボタンを押す

- 🌷マークが表示されます。
- Ⓚボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 ズームレバーまたはサイドズームレバーを操作し、🌷マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 被写体に近づいて撮影できる距離は、ズーム位置によって異なります。
  🌷マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
- ①のズーム範囲では、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。

フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

オートフォーカスについて

静止画を撮影する場合、マクロモードにすると、シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。常にピントを合わせる動作音がします。

マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、マクロモードを使えません。→「初期設定一覧」（60）
- （オート撮影）モードの場合、マクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

画像全体の明るさを明るく、または暗く調整できます。

1　マルチセレクターの▶（露出補正）を押す

2　マルチセレクターの▲または▼で補正値を選ぶ

- 被写体を明るくしたいとき：補正値を「＋」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：補正値を「－」側に設定します。

3　Ⓚボタンを押して補正値を決定する

- Ⓚボタンを押さないまま数秒経過すると、選択が決定されて設定メニューが消えます。
- ［**0.0**］以外に設定すると、液晶モニターにマークと補正値が表示されます。

4　シャッターボタンを押して撮影する

- 露出補正を解除するには、手順1に戻って補正値を［**0.0**］にします。

露出補正の設定について

（オート撮影）モードの場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ※1（51）	セルフタイマー（55）	マクロ（57）	露出補正（59）
（らくらくオート撮影）（34）	AUTO※2	OFF	OFF※3	0.0
（ベストフェイス）（44）	AUTO※4	OFF※5	OFF※6	0.0
（オート撮影）（48）	AUTO	OFF	OFF	0.0
シーン				
（36）		OFF	OFF※6	0.0
（36）	※6	OFF	OFF※6	0.0
（37）	※6	OFF※6	OFF※6	0.0
（37）	※7	OFF	OFF※6	0.0
（37）	※8	OFF	OFF※6	0.0
（38）	AUTO	OFF	OFF※6	0.0
（38）	AUTO	OFF	OFF※6	0.0
（38）	※6	OFF	OFF※6	0.0
（38）	※6	OFF	OFF※6	0.0
（39）	※6	OFF	OFF※6	0.0
（39）		OFF	ON※6	0.0
（39）	※6	OFF	ON※6	0.0
（40）	※6	OFF	OFF	0.0
（40）	※6	OFF※6	OFF※6	0.0※6
（40）		OFF	OFF	0.0
（40）	※6	OFF	OFF※6	0.0
（41）		OFF	OFF	0.0

	フラッシュ※1（□51）	セルフタイマー（□55）	マクロ（□57）	露出補正（□59）
ペット（□42）	⊛※6	ペット自動シャッター※9	OFF	0.0
3D（□43）	⊛※6	OFF※6	OFF	0.0

※1 フラッシュをポップアップしているときの設定です。
※2 AUTO（自動発光）または⊛（発光禁止）を選べます。AUTO（自動発光）にすると、自動判別されたシーンに合わせてカメラがフラッシュモードを設定します。
※3 変更できません。［**クローズアップ**］に判別されると、自動的にマクロモードになります。
※4 ［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のときは使えません。
※5 ［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にすると設定できます。
※6 変更できません。
※7 変更できません。赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
※8 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
※9 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター（□42）のON/OFFを設定できます。

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□64）。

画像サイズ（画像モード）を変える

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 撮影メニュー ➔ 画像モード ➔ Ⓚボタン

撮影メニューの［**画像モード**］で、記録時の画像サイズ（画像の大きさ）と画質（画像の圧縮率）の組み合わせを選べます。
画像の用途や内蔵メモリー /SDカードの残量に合わせて設定してください。

画像モード（画像サイズ/画質）の種類

画像モード※	内容
16M★ 4608×3456★	16Mよりも高画質な画像になります。圧縮率は約1/4です。
16M 4608×3456（初期設定）	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適しています。圧縮率は約1/8です。
8M 3264×2448	
4M 2272×1704	
2M 1600×1200	16M、8M、4Mよりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
VGA 640×480	電子メールへの添付や画面の縦横比が4:3のテレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
16:9 12M 4608×2592	縦横比が16：9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。

※ 記録データの総画素数と長辺×短辺の画素数を表しています。
例：16M 4608 × 3456：約 16 メガピクセル＝ 4608 × 3456 ピクセル

画像モードの設定について

- 設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□64）。
- シーンモードの［**3D撮影**］（□43）設定時は画像モードを選べません。

記録可能コマ数

内蔵メモリーや4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄で記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類で、記録可能コマ数が異なります。

画像モード	内蔵メモリー（約50 MB）	SDカード※1（4 GB）	プリント時の大きさ※2
16M★ 4608×3456★	約6コマ	約490コマ	約39×29 cm
16M 4608×3456	約12コマ	約970コマ	約39×29 cm
8M 3264×2448	約24コマ	約1910コマ	約28×21 cm
4M 2272×1704	約48コマ	約3820コマ	約19×14 cm
2M 1600×1200	約95コマ	約7240コマ	約13×10 cm
VGA 640×480	約256コマ	約27700コマ	約5×4 cm
16:9 12M 4608×2592	約16コマ	約1290コマ	約39×22 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cmで計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

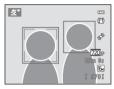
同時に設定できない機能

撮影時の設定には、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写（□49）	［**連写**］、［**BSS**］、または［**マルチ連写**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減（□46）	［**目つぶり軽減**］を［**ON**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	笑顔自動シャッター（□46）	［**笑顔自動シャッター**］で撮影するときは、セルフタイマーは使えません。
電子ズーム	連写（□49）	［**マルチ連写**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。
画像モード	連写（□49）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**画像モード**］は5M（画像サイズ：2560×1920ピクセル）に固定されます。
ホワイトバランス	ピクチャーカラー（□49）	［**白黒**］、［**セピア**］、または［**クール**］にして撮影するときは、［**ホワイトバランス**］は［**オート**］に固定されます。
連写	セルフタイマー（□55）	セルフタイマーで撮影するときは、［**単写**］に固定されます。
ISO感度設定	連写（□49）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**ISO感度設定**］は明るさに応じて自動的に設定されます。
モーション検知	連写（□49）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**モーション検知**］は作動しません。
	ISO感度設定（□49）	ISO感度を［**オート**］以外にすると、［**モーション検知**］は作動しません。
シャッター音	連写（□49）	［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］時は、シャッター音は鳴りません。

ピントについて

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。
複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

撮影モード	認識する顔の数	AFエリア（二重枠）
（らくらくオート撮影）モードの［**ポートレート**］（36）、［**夜景ポートレート**］（37）	最大12人	カメラに最も近い顔
シーンモードの［**ポートレート**］（36）、［**夜景ポートレート**］（37）		
ベストフェイスモード（44）	最大3人	画面中央に最も近い顔

- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（28）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、（オート撮影）モードなどで、等距離にある別の被写体でピントを合わせるフォーカスロック撮影（66）をお試しください。

フォーカスロック撮影

AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。
ここでは、◘（オート撮影）モードに設定した場合の操作方法を説明します。

1 被写体を画面中央に配置する

2 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。

3 半押ししたまま構図を変える

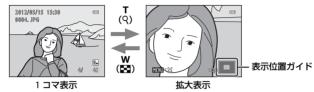
- 被写体との距離は変えないでください。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

いろいろな再生

この章では、再生時に使える機能について説明しています。

拡大表示

再生モードの1コマ表示（□29）でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、表示中の画像の中央部が拡大表示されます。

- 拡大率を調節するには、ズームレバー（**W**（■）/**T**（Q））を操作します。約10倍まで拡大できます。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
- 顔認識（□65）またはペット検出（□42）して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します。複数の顔を認識したときは、▲▼◀▶で、別の顔に移動できます。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀▶を押します。
- MENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます（⚯13）。
- ⓀボタンをOK押すと、1コマ表示に戻ります。

サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示（□29）でズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。

1 コマ表示　　サムネイル表示（4コマ/9コマ/16コマ）　　カレンダー表示

- 複数の画像を同時に表示するので、目的の画像を探しやすくなります。
- 表示コマ数は、ズームレバー（**W**（▦）/**T**（Q））で変更できます。
- マルチセレクターの▲▼◀ ▶で画像を選びOKボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- サムネイル表示を16コマにした後、ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、「カレンダー表示」になります。
- カレンダー表示で▲▼◀ ▶を押して、日付を選んでOKボタンを押すと、その日に撮影した最初の画像に移動して表示します。

カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2012年1月1日」の画像として扱われます。

再生モードで使える機能（再生メニュー）

1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタン（□3）を押してメニュー画面を表示すると、以下のメニュー操作ができます。

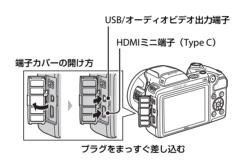
項目	内容	□
D-ライティング※1、2	逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。	⚫10
美肌※1、2	撮影した画像から人物の顔を検出して、肌（顔）をなめらかにします。	⚫11
プリント指定※2	SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかを設定します。	⚫35
スライドショー	内蔵メモリー/SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	⚫38
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、画像を保護できます。	⚫39
画像回転※2	撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。	⚫41
スモールピクチャー※1、2	撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。	⚫12
画像コピー	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。	⚫42

※1 画像を編集し、元画像とは別に保存します。［**画像モード**］（□62）を［**4608×2592**］にして撮影した画像の編集ができない、同じ種類の編集の繰り返しができないなどの制限があります（⚫8、⚫9）。

※2 シーンモードの［**3D撮影**］（□43）で撮影した画像は設定できません。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。

- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。また、接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する ⊶17

撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：付属のオーディオケーブル（AVケーブル）EG-CP16の映像プラグと音声プラグ（ステレオ）をテレビの外部入力端子に接続します。または、市販のHDMIケーブル（Type C）を、テレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する □73

パソコンに転送すると、静止画や動画の再生だけではなく、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：付属のUSBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に付属 CD-ROM「ViewNX 2 Installer」を使って、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください。付属 CD-ROM「ViewNX 2 Installer」の使い方、パソコンへの簡単な転送手順については、73 ページをご覧ください。

パソコンを使わずにプリントする ⊶20

PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：付属のUSBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これら全てを可能とするオールインワンソフトです。
付属CD-ROM「ViewNX 2 Installer」からインストールできます。

ViewNX 2をインストールする

- **インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。**

対応OS

Windows

- Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate（Service Pack 1）
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2）
- Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

- Mac OS X（version 10.5.8、10.6.8、10.7.2）

対応OSに関する最新情報、動作環境については、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動し、付属CD-ROM「ViewNX 2 Installer」をCD-ROMドライブに入れる

- Mac OS：[**ViewNX 2**]ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ内の[**Welcome**]アイコンをダブルクリックします。

2 [言語選択]ダイアログで言語を選択し、[Welcome]ウィンドウを開く

- [**言語選択**]ダイアログのメニューに選択したい言語がない場合は、[**地域選択**]をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。
- [**次へ**]をクリックすると、[**Welcome**]ウィンドウが開きます。

3 インストールを開始する

- インストールをする前に、[**Welcome**]ウィンドウの[**インストールガイド**]をクリックして、インストール方法のヘルプと動作環境を確認することをおすすめします。
- [**Welcome**]ウィンドウの[**インストール（推奨）**]をクリックします。

4 ソフトウェアをダウンロードする

- ［**ソフトウェアのダウンロード**］画面が表示されたら、［**同意して、ダウンロード開始**］をクリックします。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

5 インストール終了画面が表示されたら、インストールを終了する

- Windows：［**はい**］をクリックします。
- Mac OS：［**OK**］をクリックします。

以下のソフトウェアがインストールされます。

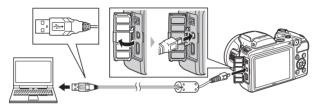
- ViewNX 2（以下の3つのモジュールで構成されています）
  - Nikon Transfer 2：画像をパソコンに取り込みます
  - ViewNX 2：取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
  - Nikon Movie Editor：取り込んだ動画の簡易編集ができます
- Panorama Maker 6（シーンモードのパノラマアシストを使って撮影した画像をパノラマ写真に合成します）

6 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- SD カードを入れたカメラの電源をOFF にしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする。
  内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにSDカードを入れずにパソコンに接続します。

- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SDカードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SD カードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- **Windows 7 をお使いの場合**
  右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。
  1［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む - Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックする

  2［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックする

SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

 USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 画像をパソコンに取り込む

- Nikon Transfer 2の［**オプション**］の［**転送元**］に、接続したカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します（①）。
- ［**転送開始**］ボタンをクリックします（②）。

- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2 の初期設定）。

3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFF にして、USB ケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

画像を見る

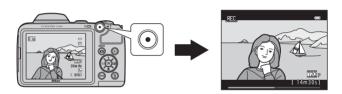
ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2のヘルプを参照してください。

ViewNX 2 を手動で起動するには

- Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS：Dock の［**ViewNX 2**］アイコンをクリックします。

動画を撮影、再生する

●（動画撮影）ボタンを押すだけで、動画を撮影できます。

動画を撮影する

●（動画撮影）ボタンを押すだけで、すぐに動画を撮影できます。

1 撮影画面を表示する

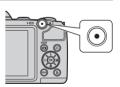
- 動画設定は、撮影する動画の種類を表します。初期設定は、［**720p HD 720p（1280×720）**］です（□83）。

2 フラッシュを閉じる（□5）

- フラッシュを開いていると録音の妨げになる場合があります。

3 ●（動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。

- ［**動画設定**］が［**720p HD 720p（1280×720）**］の場合、撮影画面の縦横比が16：9に切り換わります。
- セットアップメニューの［**モニター設定**］（□88）の［**モニター表示設定**］で［**動画枠+情報AUTO**］にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。
- 内蔵メモリーへの記録中は、INが表示されます。

4 ●（▶🎥動画撮影）ボタンを押して撮影を終了する

✔ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/SDカードカバーを開けないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

✔ 動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（📖15）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 電子ズームを使うと、画質は劣化します。電子ズームを使わずに動画撮影を開始したときは、ズームレバーまたはサイドズームレバーを**T**方向に操作し続けると、光学ズームの最大倍率でズームが止まります。いったんズームレバーから指をはなして、もう一度**T**方向に操作すると電子ズームが作動します。
- 電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。
- ズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画の撮影では、液晶モニターにスミア（💡3）が発生すると、記録される動画にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。
- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。

✔ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」（📖28）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの［**AF モード**］を AF-S［**シングル AF**］（初期設定）にする（📖83、🔗45）。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（▶🎥動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画の記録可能時間

動画設定（□83）	内蔵メモリー（約50 MB）	SDカード（4 GB）※
720p HD 720p（1280×720）（初期設定）	約31秒	約45分
VGA VGA（640×480）	約1分17秒	約1時間50分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。

※ 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

動画撮影で使える機能

- 露出補正、ホワイトバランス、およびピクチャーカラーの設定も撮影する動画に反映します。シーンモード（□35）での色合いも動画に反映します。マクロモードのときは、より被写体に近づいて動画を撮影できます。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー（□55）を使えます。セルフタイマーを設定し、●（動画撮影）ボタンを押すと、10秒経過後に動画撮影を開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前にMENUボタンを押して、（動画）タブを選ぶと動画メニューの設定ができます（□83）。

動画撮影の設定を変える（動画メニュー）

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 🎥タブ ➔ ⓞⓚボタン

以下のメニュー項目の設定が変更できます。

項目	内容	📖
動画設定	撮影する動画の種類を［720p **HD 720p（1280×720）**］、［VGA **VGA（640×480）**］から選べます。	➡44
AFモード	動画撮影開始時のピントに固定する**AF-S**［**シングルAF**］（初期設定）、または動画撮影中にピント合わせを繰り返す**AF-F**［**常時AF**］を選べます。 **AF-F**［**常時AF**］にすると、ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、**AF-S**［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。	➡45
風切り音低減	動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。	➡45

動画を再生する

▶ボタンを押して再生モードにします。
動画設定（□83）のアイコンが表示されている
画像が動画です。
Ⓚボタンを押すと、再生できます。

動画の削除

動画を削除するには、1コマ表示（□29）やサムネイル表示（□69）で動画を選んで
🗑ボタンを押します（□31）。

動画再生中の操作

画面上部には操作パネルが表示されます。
マルチセレクターの◀▶を押して操作パネルのアイコンを選ぶと、以下の操作ができます。

機能	アイコン		内容
巻き戻し	◀◀		ⓚボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	▶▶		ⓚボタンを押している間、早送りします。
一時停止	❚❚		ⓚボタンを押すと、一時停止します。一時停止中に画面上部の操作パネルのアイコンで以下の操作ができます。
		◀❚❚	ⓚボタンを押すと、コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		❚❚▶	ⓚボタンを押すと、コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。
		▶	ⓚボタンを押すと、再生を再開します。
		✂	ⓚボタンを押すと、動画の必要な部分だけを切り出して保存します（➡15）。
再生終了	■		ⓚボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

音量の調節

再生中にズームレバー **T**/**W**（📖2）を回します。

 動画再生について

COOLPIX L810以外で撮影した動画は、このカメラで再生できません。

カメラに関する基本設定

この章では、🔧セットアップメニューで設定できる項目の種類を説明しています。

設定できる項目のより詳しい説明は、「詳細編　セットアップメニュー」(⚙46)をご覧ください。

セットアップメニュー

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップ）タブ ➔ ⓀボタンOK

メニュー画面でYタブを選ぶと、以下の項目をセットアップメニューで設定できます。

項目	内容	📖
オープニング画面	カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。	➡46
地域と日時	内蔵時計を合わせます。	➡47
モニター設定	モニター表示設定や画面の明るさを設定します。	➡51
デート写し込み	撮影日時を画像に写し込む設定ができます。	➡53
手ブレ補正	撮影するときの手ブレ補正を設定します。	➡54
モーション検知	静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。	➡55
AF補助光	AF補助光の点灯/非点灯を設定します。	➡56
操作音	操作音について設定します。	➡57
オートパワーオフ	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。	➡58
メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）	内蔵メモリー /SDカードを初期化します。	➡59
言語/Language	画面に表示する言語を設定します。	➡60
TV出力設定	テレビとの接続に必要な設定をします。	➡60

項目	内容	📖
目つぶり検出設定	顔認識撮影したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。	➡61
Eye-Fi**送信機能**	市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうか設定します。	➡63
設定クリアー	カメラを初期設定にリセットします。	➡64
電池設定	使用する電池の種類を設定します。	➡67
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	➡67

詳細編

詳細編では、機能の詳細や使い方のヒントなどを記載しています。

撮影

再生

メニュー

資料

パノラマアシストの使い方

画面中央でピントを合わせます。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□88）の［**手ブレ補正**］（⚯54）を［**OFF**］にしてください。

撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ ◘（上から2番目のアイコン※）➔ ▶ ➔ ▲、▼、◀、▶ ➔ ◘（パノラマアシスト）➔ ⓚボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

1 マルチセレクターでパノラマ方向を選び、ⓚ ボタンを押す

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す ▷ マークが表示されています。右方向につなげるときは▷、左方向は◁、上方向は△、下方向は▽を選びます。
- 選んだ方向に黄色い▷▷マークが移動し、ⓚボタンを押すと方向を決定します。決定した方向の▷（白色）が表示されます。
- フラッシュモード（□51）、セルフタイマー（□55）、マクロモード（□57）、露出補正（□59）を設定したいときは、ここで設定します。
- もう一度ⓚボタンを押すと、パノラマ方向を選び直せます。

2 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- 撮影した画像が、画面の約 1/3 の部分に半透明で表示されます。

3 2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の1/3が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押します。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影します。

4 必要な画像を撮影し終わったら、Ⓚボタンを押す

- 手順1の状態に戻ります。

パノラマアシストについてのご注意

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロモード、露出補正は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。1コマ目を撮影した後は、［**画像モード**］（□62）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ（⚯58）による待機状態になると撮影が終了します。オートパワーオフの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

AE/AF-L表示について

パノラマアシストモードでは、パノラマ写真を構成するすべての画像を、1コマ目と同じ露出、ホワイトバランスおよびピントで撮影します。
1コマ目を撮影すると、露出、ホワイトバランスとピントをロック（固定）したことを示すAE/AF-Lが画面に表示されます。

パノラマ写真に合成するには（Panorama Maker 6）

- 撮影した画像をパソコンに転送して（□76）、Panorama Maker 6でパノラマ写真に合成します。
- Panorama Maker 6は、付属CD「ViewNX 2 Installer」でインストールできます（□73）。
- Panorama Maker 6をインストールしたら、次のように起動します。
  Windows：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**ArcSoft Panorama Maker 6**］→［**Panorama Maker 6**］の順にクリックします。
  Mac OS X：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Panorama Maker 6**］をダブルクリックします。
- Panorama Maker 6の使い方は、Panorama Maker 6の操作画面やヘルプをご覧ください。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→68

3D画像の撮影方法

3D画像は3D対応のテレビまたはモニターで立体的に表示するため、左目用と右目用の2コマを撮影します。

撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ ◘（上から2番目のアイコン※）➔ ▶ ➔ ▲、▼、◀、▶ ➔ 3D（3D撮影）➔ ⓪ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

1 被写体に構図を合わせて、1 コマ目を撮影する

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- ピントと露出およびホワイトバランスは、1 コマ目の撮影で固定され、画面にAE/AF-Lが表示されます。
- 1コマ目が撮影され、2コマ目を撮影するために生成されたガイド表示が、画面に半透明で表示されます。

2 半透明のガイド表示に被写体を重ね合わせるように、カメラを右に水平移動する

- 撮影をキャンセルするには、⓪ボタンを押します。

詳細編

3 ガイドに被写体を重ね合わせた状態で、自動で2コマ目のシャッターがきれるのを待つ

- カメラが被写体の重なりを検知すると、2コマ目が自動的に撮影されます。
- 約10秒以内に被写体の重なりを検知できない場合は、撮影はキャンセルされます。

COOLPIX L810をテレビまたはモニターにつないで、3D画像を再生する

- 撮影した3D画像は、3D 対応のテレビまたはモニターでのみ、3D（立体）で再生できます。
- カメラの液晶モニターでは3D（立体）で再生できません。左目用の画像のみで再生されます。

1 セットアップメニュー（88）[TV出力設定] の [HDMI 3D出力]（60）を［ON］（初期設定）にする

2 3D対応のHDMIケーブルで、カメラを3D対応のテレビまたはモニターに接続する（17）

- テレビまたはモニターの設定は、お使いのテレビまたはモニターの説明書をご確認ください。

3D再生についてのご注意

- 拡大表示はできません。
- 3D以外の画像との表示の切り換えに時間がかかることがあります。
- カメラを 3D 対応のテレビまたはモニターに HDMI 接続して 3D（立体）で再生するときは、HDMIケーブルも3Dに対応している必要があります。
- セットアップメニュー（88）［**TV 出力設定**］の［**HDMI**］（60）は、［**オート**］（初期設定）または［**1080i**］に設定してください。［**480p**］または［**720p**］に設定すると、3D（立体）では再生できません。
- 3D画像を3D対応のテレビまたはモニターで長時間見続けると、眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。お使いのテレビまたはモニターの説明書をよくご覧になり、適切に使用してください。

3D画像の撮影について

- 動く被写体は3D撮影に適していません。止まった被写体を撮影することをおすすめします。
- カメラと被写体との距離が離れているほど、立体感が出にくくなります。
- 被写体が暗いときや、2コマ目の撮影時に画像の重ね合わせが充分でない場合は、立体感が出にくいことがあります。
- ズーム倍率を高くして撮影するときは、手ブレにご注意ください。
- 暗い場所で撮影した場合は、画像にノイズが現れることがあります。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 2コマ目の撮影で、ガイドに被写体を重ね合わせても自動撮影が作動せず、撮影がキャンセルされる場合は、シャッターボタンによる手動撮影をお試しください。

画像の編集（静止画）

画像編集の種類

このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（E68）。

編集の種類	用途
D-ライティング（E10）	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
美肌（E11）	人物の肌（顔）をなめらかにします。
スモールピクチャー（E12）	サイズの小さい画像を作成します。電子メールに添付して送信するときなどに使います。
トリミング（E13）	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。

画像編集についてのご注意

- ［**画像モード**］（62）を［ **4608×2592**］にして撮影した画像、および［**3D撮影**］（43）で撮影した画像は、編集できません。
- COOLPIX L810以外で撮影した画像は、このカメラで編集できません。
- 画像から人物の顔を検出できないときは、美肌の編集はできません（E11）。
- COOLPIX L810以外のデジタルカメラでは、このカメラで編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。

画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
D-ライティング	美肌、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
美肌	D-ライティング、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
スモールピクチャー トリミング	追加編集できません。

- 編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。
- スモールピクチャーまたはトリミングと別の編集機能を組み合わせるときは、スモールピクチャーまたはトリミングは最後に編集してください。
- 撮影時に美肌機能を使って撮影した画像（E27）にも、美肌の編集ができます。

元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- プリント指定（E35）やプロテクト設定（E39）した画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像には反映されません。

D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ D-ライティング ➔ OKボタン

逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。

マルチセレクターの▲▼を押して［実行］を選び、OKボタンを押す

- 左側に表示される画像は補正前、右側は補正後の見本です。
- 補正した画像が別画像として保存されます。

- 作成した画像は、再生画面でが表示されます。

詳細編

 関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→68

美肌（肌をなめらかにする）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ 美肌 ➔ Ⓚボタン

撮影した画像から人物の顔を検出して、肌（顔）をなめらかにします。

1 マルチセレクターの▲▼を押して効果の度合いを選び、Ⓚボタンを押す

- 確認画面になり、編集した顔が拡大表示されます。
- 中止するときは、◀を押します。

2 効果を確認し、Ⓚボタンを押す

- 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- 編集した顔が複数あるときは、マルチセレクターの◀▶を押すと顔の切り換えができます。
- 効果の度合いを変えたいときは、MENU ボタンを押して手順1に戻ります。
- 編集した画像は別画像として保存され、再生画面でが表示されます。

詳細編

美肌についてのご注意

顔の向きや明るさなど、画像によっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→6-668

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ スモールピクチャー ➔ ⓞⓚボタン

撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。

1 マルチセレクターの ▲▼ を押してスモールピクチャーのサイズを選び、ⓞⓚボタンを押す

2 ［はい］を選び、ⓞⓚボタンを押す

- 作成した画像が別画像（圧縮率1/16）として保存されます。
- 作成した画像は、黒の枠で囲まれて表示されます。

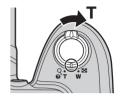
 関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→🔗68

✂ トリミング（画像の一部を切り抜く）

拡大表示（□68）中にMENU:✂マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。

1 1コマ表示（□29）でズームレバーを**T**（Q）方向に回して、画像を拡大表示する

- 縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、トリミング画像は横位置になります。縦位置のトリミング画像を作るには［**画像回転**］（⚭41）で横位置にしてからトリミングし、再度トリミング画像を縦位置に戻します。

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームレバーを**T**（Q）または**W**（▦）方向に回して拡大率を調節します。
- マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押して表示範囲を移動します。

3 MENUボタンを押す

4 マルチセレクターで［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- トリミング画像が別画像として保存されます。

画像サイズについて

切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。
トリミングして画像サイズが320×240または160×120になった画像は、再生時に黒の枠で囲まれ、画面左側にスモールピクチャーの アイコンが表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→ 68

動画の編集

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

1 編集する動画を再生して、一時停止する（□85）

2 マルチセレクターの◀ ▶で操作パネルの✂を選び、OKボタンを押す

- 動画編集画面が表示されます。

3 ▲▼で操作パネルの✂（始点の設定）を選ぶ

- 編集開始時は、一時停止したときのフレームが始点になっています。
- マルチセレクターの◀ ▶で始点を必要な部分の開始位置まで移動します。
- 編集を中止するには、▲▼で↩（戻る）を選び、OKボタンを押します。

4 ▲▼で✂（終点の設定）を選ぶ

- ◀ ▶で右端にある終点を必要な部分の終了位置まで移動します。
- ▶（プレビュー）を選び、OKボタンを押すと、保存する前に指定した範囲の動画を再生して確認できます。再生中、ズームレバー **T**/**W** で音量を調節できます。プレビュー再生を停止するときは、もう一度OKボタンを押します。

5 設定が完了したら、▲▼で[保存]を選び、OKボタンを押す

6 [はい]を選び、OKボタンを押す

- 編集した動画が保存されます。

動画編集についてのご注意

- 以下の場合は、操作パネルのは表示されず、編集できません。
  - 編集で作成した動画から切り出そうとしたとき
    再編集はできません。ほかの範囲を切り出すときは、元の動画を選んで編集してください。
  - 電池残量表示がのとき
- 秒単位で動画を切り出すため、設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→68

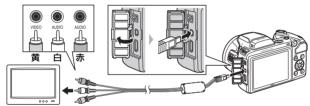
テレビとの接続（テレビ画面での再生）

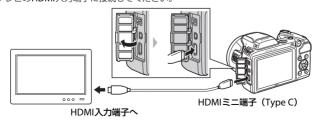
カメラをテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。
HDMI端子が付いたテレビをお持ちの場合は、市販のHDMIケーブルで接続できます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとテレビを接続する

付属のオーディオビデオケーブルで接続する場合

黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白色と赤色のプラグを音声入力端子に接続してください。

市販のHDMIケーブルで接続する場合

テレビのHDMI入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

・ 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

4 カメラの▶ボタンを長押しして電源をONにする

・ カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
・ テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

HDMI接続についてのご注意

HDMIケーブルは付属していません。市販のものをご用意ください。カメラのHDMI出力端子は、HDMIミニ端子（Type C）です。HDMIケーブルご購入時は、ケーブルの片方がHDMIミニ端子のものをお選びください。

ケーブル接続時のご注意

・ ケーブルは、端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
・ カメラのHDMIミニ端子とUSB/オーディオビデオ出力端子に、同時にケーブルを接続しないでください。

画像がテレビに映らないときは

セットアップメニューの［**TV出力設定**］（⚭60）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

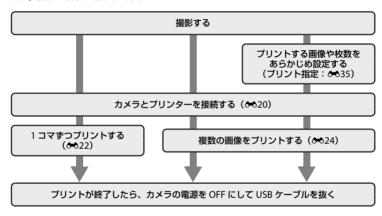
テレビのリモコンを使う（HDMI 機器制御）

HDMI-CEC規格対応テレビのリモコンで、再生中の操作ができます。
カメラのマルチセレクターやズームレバーのかわりに、画像の選択や動画の再生/停止、1コマ表示と4コマのサムネイル表示の切り換えなどができます。

・ カメラの［**TV出力設定**］の［**HDMI 機器制御**］（⚭60）を［**ON**］（初期設定）にし、HDMIケーブルで接続してください。
・ リモコンは、テレビに向けて操作してください。
・ お使いのテレビがHDMI-CEC規格に対応しているかどうかは、テレビの説明書などでご確認ください。

プリンターとの接続（ダイレクトプリント）

PictBridge（☆19）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。

詳細編

電源についてのご注意

- プリンターと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のある電池をお使いください。
- 別売のACアダプター EH-67を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX L810へ電源を供給できます。EH-67以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

画像のプリント方法について

SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に以下の方法でプリントできます。

- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、再生メニューの［**プリント指定**］を使って、あらかじめSDカードに設定できます（E35）。

カメラとプリンターを接続する

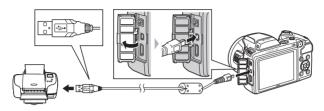
1 カメラの電源をOFFにする

2 プリンターの電源をONにする

- プリンターの設定を確認します。

詳細編

3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

- 端子の挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

4 カメラの電源をONにする

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに［**PictBridge**］画面が表示された後、［**プリント画像選択**］画面が表示されます。

1コマずつプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから(E20)、以下の手順でプリントしてください。

1 マルチセレクターでプリントする画像を選び、Ⓚボタンを押す

- ズームレバーを **W**(▦)方向に回すと12コマ表示に切り換わり、画像を選びやすくなります。**T**(Q)方向に回すと1コマ表示に切り換わります。

2 [プリント枚数設定]を選び、Ⓚボタンを押す

3 マルチセレクターの▲または▼でプリント枚数(9枚まで)を設定し、Ⓚボタンを押す

詳細編

4 ［用紙設定］を選び、Ⓚボタンを押す

5 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

6 ［プリント実行］を選び、Ⓚボタンを押す

7 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。

プリント中の枚数/総枚数

詳細編

複数の画像をプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから(E20)、以下の手順でプリントしてください。

1 ［プリント画像選択］画面が表示されたら、MENUボタンを押す

2 マルチセレクターで［**用紙設定**］を選び、OK ボタンを押す

- プリントメニューを終了したいときは、MENUボタンを押します。

3 用紙サイズを選び、OKボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

4 ［**プリント選択**］、［**全画像プリント**］または［**DPOFプリント**］を選んで、OKボタンを押す

プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定できます。

- マルチセレクターの ◀▶ を押して画像を選び、▲▼ を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと 12 コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したら ⓞⓚ ボタンを押します。
- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、ⓞⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。［**キャンセル**］を選んで ⓞⓚ ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、ⓞⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。［**キャンセル**］を選んで ⓞⓚ ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

DPOFプリント

［**プリント指定**］（⚲35）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、Ⓚボタンを押すと画像のプリントが始まります。［**キャンセル**］を選んでⓀボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。
- ［**画像の確認**］を選んでⓀボタンを押すと、どの画像をプリント指定したか確認できます。もう一度Ⓚボタンを押すと、画像のプリントが始まります。

5 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。

プリント中の枚数/総枚数

詳細編

用紙設定について

用紙設定画面では、［**プリンターの設定**］以外に、［**L サイズ**］、［**2L サイズ**］、［**はがき**］、［**100×150 mm**］、［**4×6 in.**］、［**8×10 in.**］、［**Letter**］、［**A3 サイズ**］、［**A4 サイズ**］のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

- ［**画像モード**］については、「画像サイズ（画像モード）を変える」（□62）をご覧ください。

美肌効果

ベストフェイスモードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 美肌効果 ➔ ⓀボタンC

美肌の効果を設定します。

項目	内容
ON（初期設定）	シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。
OFF OFF	美肌機能をOFFにします。

設定は撮影時の画面で確認できます（□6）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。また、撮影画面の被写体では、効果を確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

笑顔自動シャッター

ベストフェイスモードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 笑顔自動シャッター ➔ ⓀボタンOK

カメラが顔認識した人物の笑顔を検出するたびにシャッターをきります。

項目	内容
ON（初期設定）	笑顔自動シャッターを設定します。
OFF OFF	笑顔自動シャッターをOFFにします。

設定は撮影時の画面で確認できます（6）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

目つぶり軽減

ベストフェイスモードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 目つぶり軽減 ➔ OKボタン

撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。

項目	内容
ON	目つぶり軽減を設定します。 ［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。 目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。 目つぶり検出した画像を記録しました
OFF OFF（初期設定）	目つぶり軽減機能をOFFにします。

設定は撮影時の画面で確認できます（6）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

詳細編

- ［**画像モード**］については、「画像サイズ（画像モード）を変える」（62）をご覧ください。

ホワイトバランス（色合いの調整）

（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ ホワイトバランス ➔ Ⓚボタン

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整が必要です。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
初期設定の［**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。
PRE プリセットマニュアル	特殊な照明の下などでの撮影に適しています（30）。
晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

設定は撮影時の画面で確認できます（6）。［**オート**］のときは、何も表示されません。

プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明の下で撮影するときなど、[**オート**]や[**電球**]などのホワイトバランス設定では望ましい結果が得られない場合に使います(赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど)。
以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

2 撮影メニューを表示し(□49)、マルチセレクターで[**ホワイトバランス**]の[**PRE プリセットマニュアル**]を選び、**OK**ボタンを押す

- レンズが測定用のズーム位置になります。

3 [**新規設定**]を選ぶ

- 前回測定したホワイトバランス値を使いたいときは、[**前回の設定**]を選んで**OK**ボタンを押します。再測定せずに、ホワイトバランスが前回の値に設定されます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める

詳細編

5 Ⓚボタンを押して、ホワイトバランス値を測定する

・シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます（画像は記録されません）。

詳細編

ホワイトバランスについてのご注意

・他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□64）。
・［**オート**］、［**フラッシュ**］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを閉じるか、フラッシュを⊛（発光禁止）に設定してください（□51）。

プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、［**ホワイトバランス**］を［**オート**］または［**フラッシュ**］に設定してください。

連写

(オート撮影)モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 連写 ➔ ®ボタン

連写(連続撮影)やBSS(ベストショットセレクター)を設定できます。

項目	内容
単写(初期設定)	1コマずつ撮影します。
連写	シャッターボタンを全押ししている間、約1.2コマ/秒で最大約4コマまで連写できます([**画像モード**]が[**4608×3456**]のとき)。
BSS **(ベストショットセレクター)**	暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。 シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け(最大10コマ)、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。 • 静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。
マルチ連写	シャッターボタンを1回全押しすると約30コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 • 記録される[**画像モード**]は (画像サイズ:2560 × 1920 ピクセル)に固定されます。 • 電子ズームは使えません。

設定は撮影時の画面で確認できます(6)。[**単写**]のときは、何も表示されません。

連写についてのご注意

- [**連写**]、[**BSS**]または[**マルチ連写**]で撮影するときは、フラッシュは使えません。ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 画像モード、SDカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります(64)。

マルチ連写についてのご注意

マルチ連写の撮影では、液晶モニターにスミア（☼3）が発生すると、記録される画像にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

ISO感度設定

📷（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ ISO感度設定 ➔ OKボタン

ISO感度を高くすると、より少ない光量で撮影できます。
ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、暗い被写体の撮影、フラッシュを使わない撮影、望遠側での撮影などに効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	明るい場所ではISO 80になり、暗い場所では自動的にISO 1600までISO感度が高くなります。
80、100、200、400、800、1600	ISO感度を選んだ値に固定します。

設定は撮影時の画面で確認できます（📖6）。

- ［**オート**］に設定した場合、ISO 80で撮影できるときは何も表示されず、ISO感度が自動的に上がったときにISOマークが表示されます。

詳細編

ISO感度設定についてのご注意

- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（📖64）。
- ISO感度を固定すると、［**モーション検知**］（⚯55）は作動しません。

ピクチャーカラー

◘（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ ピクチャーカラー ➔ ⓀボタンЕ

記録する画像の色調を変えます。

項目	内容
標準カラー（初期設定）	自然な色調になります。
ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
白黒	白黒写真になります。
セピア	セピア色になります。
クール	ブルー系のモノトーンになります。

設定は撮影時の画面で確認できます（□6）。［**標準カラー**］のときは、何も表示されません。
設定に応じて、撮影時の画面の色調も変わります。

詳細編

ピクチャーカラーについてのご注意

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□64）。

再生メニュー

- 画像編集機能については、「画像の編集（静止画）」（E8）をご覧ください。

🖶 プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ 🖶 プリント指定 ➔ ⓀボタンSDカードに記録した画像を以下の方法でプリントする場合、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめSDカードに設定できます。

- カードスロットが付いたDPOF対応（☼19）のプリンターでプリントする。
- DPOF対応のプリントサービス店にプリントを依頼する。
- カメラをPictBridge対応（☼19）のプリンターに接続してプリントする（E19）（カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます）。

1 ［複数画像選択］を選び、Ⓚボタンを押す

詳細編

2 プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- マルチセレクターの◀ ▶を押して画像を選び、▲▼を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したらⓄⓀボタンを押します。

3 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］を選んでⓄⓀボタンを押すと、すべての画像に撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］を選んでⓄⓀボタンを押すと、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- ［**選択終了**］を選んでⓄⓀボタンを押し、設定を有効にします。

プリント指定を行った画像は、再生画面で🖶が表示されます。

日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した［**日付**］と［**撮影情報**］は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター（19）で印字できます。

- 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOFプリント」（26）するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント指定を行った後、再び［**プリント指定**］を表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**地域と日時**］で［**日時の設定**］や［**タイムゾーン**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

プリント指定をすべて取り消すには

「プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）」の手順1（35）で［**プリント指定取消**］を選んでボタンを押すと、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。

［デート写し込み］について

セットアップメニューの［**デート写し込み**］（53）を使うと、撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。デート写し込みした画像は、［**プリント指定**］で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

詳細編

▣ スライドショー

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ ▣ スライドショー ➔ ⓀボタンＮ

内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 マルチセレクターで［**開始**］を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 画像の表示時間を変更するには、［**開始**］を選ぶ前に［**インターバル設定**］を選んでⓀボタンを押し、画像の表示時間を選びます。
- 繰り返し再生するには、［**開始**］を選ぶ前に［**エンドレス**］を選んでⓀボタンを押し、チェックボックスをオン［✔］にします。

2 スライドショーが始まる

- 再生中にマルチセレクターの▶または▼を押すと次の画像、◀または▲を押すと前の画像を表示します（ボタンを押し続けると早送り/巻き戻しになります）。
- 途中で終了または一時停止したいときは、Ⓚ ボタンを押します。

3 終了または再開する

- 最終コマの再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。■を選び、Ⓚボタンを押すと手順1に戻ります。▶を選ぶとスライドショーを再開します。

スライドショーについてのご注意

- 動画は1フレーム目だけを表示します。
- スライドショーを連続再生できる時間は、[**エンドレス**]に設定している場合も含め、最大約30分です（E58）。

プロテクト設定

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ プロテクト設定 ➔ Ⓚボタン

大切な画像を誤って削除しないように、画像を保護できます。
画像選択の画面で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。
→「画像選択画面の操作方法」（E40）
ただし、内蔵メモリー /SDカードを初期化（フォーマット、E59）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

プロテクト設定した画像は、カメラでの再生時にマーク（8）が表示されます。

画像選択画面の操作方法

以下の操作では、画像選択時に右のような画面が表示されます。

- プリント指定の［**複数画像選択**］（⚙35）
- プロテクト設定（⚙39）
- 画像回転（⚙41）
- 画像コピーの［**選択画像コピー**］（⚙42）
- オープニング画面の［**撮影した画像**］（⚙46）
- 画像削除の［**削除画像選択**］（□31）

以下の手順で画像を選びます。

1 マルチセレクターの◀ ▶を押して画像を選ぶ

- ズームレバー（□2）を**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- ［**画像回転**］、［**オープニング画面**］の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ

2 ▲▼を押してON/OFF（またはプリント枚数）を設定する

- ONにすると、選択画像に✓が表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。

3 ®ボタンを押して画像選択を決定する

- ［**選択画像コピー**］などでは確認画面になります。画面の表示に従って操作してください。

詳細編

画像回転

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ 画像回転 ➔ ⓚボタン

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。
静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと（➡40）、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクターの◀または▶を押すと90度回転します。

反時計方向に
90 度回転

時計方向に
90 度回転

ⓚボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

詳細編

画像回転についてのご注意

COOLPIX L810以外で撮影した画像、および［**3D撮影**］（□43）で撮影した画像は、このカメラで回転できません。

画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ 画像コピー ➔ ⓚボタン

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

1 マルチセレクターでコピーする方向を選び、ⓚボタンを押す

- ［**カメラ→カード**］：内蔵メモリーからSDカードへコピーします。
- ［**カード→カメラ**］：SDカードから内蔵メモリーへコピーします。

2 コピーの方法を選び、ⓚボタンを押す

- ［**選択画像コピー**］：画像選択の画面（E40）で、画像を選んでコピーします。
- ［**全画像コピー**］：すべての画像をコピーします。

画像コピーについてのご注意

- コピーできるファイルの形式は、JPEG、MOV、MPOです。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- ［**プリント指定**］（E35）した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。［**プロテクト設定**］（E39）した画像をコピーすると、コピー先の画像もプロテクトされます。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されますが、MENUボタンを押すと画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーできます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→E68

動画メニュー

動画設定

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 🎥タブ ➔ 動画設定 ➔ Ⓚボタン

撮影する動画の種類を選びます。
画像サイズが大きく、ビットレートが大きいほど高画質になり、ファイルサイズは大きくなります。

種類	内容
720p HD 720p（1280×720）（初期設定）	縦横比16:9の動画を記録します。 ・ ビットレート：約 9 Mbps
VGA VGA（640×480）	縦横比4:3の動画を記録します。 ・ ビットレート：約 3 Mbps

- ビットレートとは、1秒間あたりの動画のデータ量です。撮影する被写体により、ビットレートが自動的に変わる「VBR記録方式」を採用しています。動きの多い被写体を記録した場合は、ファイルサイズが大きくなります。
- 撮影フレーム数は、いずれの設定も約30フレーム/秒です。
- 記録可能時間→📖82

記録データのファイル名とフォルダー名→🔗68

AFモード

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 🎥タブ ➔ AFモード ➔ ®ボタン

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

設定	内容
AF-S **シングル**AF **（初期設定）**	●（▸🎥動画撮影）ボタンで撮影を開始したときのピントに固定します。撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F **常時**AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。

風切り音低減

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 🎥タブ ➔ 風切り音低減 ➔ ®ボタン

動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。

設定	内容
ON	マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。強風時の撮影に適しています。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。
OFF OFF **（初期設定）**	風切り音を低減しません。

設定は撮影時の画面で確認できます（□6）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

詳細編

オープニング画面

MENUボタン ➔ ¥タブ ➔ オープニング画面 ➔ kボタン

カメラの電源をONにしたときに表示されるオープニング画面の設定をします。

項目	内容
なし（初期設定）	オープニング画面を表示しないで、撮影または再生画面を表示します。
COOLPIX	オープニング画面を表示してから、撮影または再生画面を表示します。
撮影した画像	撮影した画像をオープニング画面として表示します。画像選択の画面が表示されたら画像を選び（E40）、kボタンを押して登録します。 ・ 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。 ・ ［**画像モード**］（A62）を［**4608 × 2592**］にして撮影した画像、［**3D撮影**］（A43）で撮影した画像、およびスモールピクチャー（E12）やトリミング（E13）で作成した画像サイズ 320 × 240 以下の画像は登録できません。

地域と日時

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ 地域と日時 ➔ ⓚボタン

カメラに内蔵された時計を設定します。

項目	内容
日時の設定	内蔵時計の日付と時刻を設定します。 表示される設定画面で、マルチセレクターを使って設定します。 • 項目を選ぶ：▶ または ◀ を押します（[**年**]、[**月**]、[**日**]、[**時**]、[**分**] に切り換わります）。 • 項目の内容を合わせる：▲ または ▼ を押します。 • 設定を完了する：[**分**] を選び、ⓚ ボタンを押します。 日時の設定 / 年 月 日 / 2012 01 01 / 00 : 00 / 変更
日付の表示順	日付の表示順を［**年/月/日**］、［**月/日/年**］、［**日/月/年**］から選べます。
タイムゾーン	自宅（🏠）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（🏠）との時差（⚯50）を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

詳細編

時差のある地域で使うには

1 マルチセレクターで［タイムゾーン］を選び、Ⓚボタンを押す

2 ［✈ 訪問先］を選び、Ⓚボタンを押す

- 訪問先の時計に切り換わります。

3 ▶を押す

- 地域の設定画面が表示されます。

4 ◀または▶を押して訪問先の地域（タイムゾーン）を選ぶ

- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域で使うときは、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部にマークが表示され、時計が1時間進みます。オフにするには▼を押します。
- ®ボタンを押して、訪問先を決定します。
- 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面にマークが表示されます。

（自宅）の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で［**自宅**］を選び、®ボタンを押してください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で［**自宅**］を選び、［**訪問先**］と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）が始まったときや終わったときは、手順4の地域設定画面で、夏時間のオンとオフを切り換えてください。

日付を画像に写し込むには

日時を設定した後に、セットアップメニューの［**デート写し込み**］（⊶53）で設定します。［**デート写し込み**］を設定して撮影すると、撮影日時を画像に写し込んで記録できます。

タイムゾーンについて

時差とタイムゾーンの関係は以下の表をご覧ください。
この表にない時差は、正しい時刻を［**日時の設定**］で合わせてください。

時差 +/−	タイムゾーン
−20	Midway, Samoa（ミッドウェー、サモア）
−19	Hawaii, Tahiti（ハワイ、タヒチ）
−18	Alaska, Anchorage（アラスカ、アンカレッジ）
−17	PST (PDT): Los Angeles, Seattle, Vancouver（ロサンゼルス、シアトル、バンクーバー）
−16	MST (MDT): Denver, Phoenix（デンバー、フェニックス）
−15	CST (CDT): Chicago, Houston, Mexico City（シカゴ、ヒューストン、メキシコシティー）
−14	EST (EDT): New York, Toronto, Lima（ニューヨーク、トロント、リマ）
−13.5	Caracas（カラカス）
−13	Manaus（マナウス）
−12	Buenos Aires, Sao Paulo（ブエノスアイレス、サンパウロ）
−11	Fernando de Noronha（フェルナンド・デ・ノローニャ）
−10	Azores（アゾレス）
−9	London, Casablanca（ロンドン、カサブランカ）

時差 +/−	タイムゾーン
−8	Madrid, Paris, Berlin（マドリード、パリ、ベルリン）
−7	Athens, Helsinki, Ankara（アテネ、ヘルシンキ、アンカラ）
−6	Moscow, Nairobi, Riyadh, Kuwait, Manama（モスクワ、ナイロビ、リヤド、クウェート、マナマ）
−5	Abu Dhabi, Dubai（アブダビ、ドバイ）
−4	Islamabad, Karachi（イスラマバード、カラチ）
−3.5	New Delhi（ニューデリー）
−3	Colombo, Dhaka（コロンボ、ダッカ）
−2	Bangkok, Jakarta（バンコク、ジャカルタ）
−1	Beijing, Hong Kong, Singapore（北京、香港、シンガポール）
±0	Tokyo, Seoul（東京、ソウル）
+1	Sydney, Guam（シドニー、グアム）
+2	New Caledonia（ニューカレドニア）
+3	Auckland, Fiji（オークランド、フィジー）

モニター設定

MENUボタン ➔ ¥タブ ➔ モニター設定 ➔ Ⓚボタン

以下の項目を設定します。

項目	内容
モニター表示設定	撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。
画面の明るさ	画面の明るさを5段階で調節できます。初期設定は［**3**］です。

［モニター表示設定］について

画面に情報を表示するかどうかを設定します。

	撮影時	再生時
情報ON	29m 0s [970]	2012/05/15 15:30 0004. JPG [4/ 4]
情報AUTO （初期設定）	［**情報ON**］と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると［**情報OFF**］と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	
情報OFF		

	撮影時	再生時
格子線+ **情報**AUTO	 ［**情報AUTO**］の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。 動画撮影中は表示しません。	 ［**情報AUTO**］と同じです。
動画枠+ **情報**AUTO	 ［**情報AUTO**］の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。 動画撮影中は表示しません。	［**情報AUTO**］と同じです。

デート写し込み（日付の写し込み）

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ デート写し込み ➔ ⓀボタンOKボタン

撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（⚲37）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

項目	内容
DATE 年・月・日	画像に日付を写し込みます。
DATE⏱ 年・月・日・時刻	画像に日付と時刻を写し込みます。
OFF OFF（初期設定）	日付、時刻のどちらも写し込みません。

設定は撮影時の画面で確認できます（□6）。［**OFF**］のときは何も表示されません。

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日付を写し込めません。
  - シーンモードの［**パノラマアシスト**］、［**ペット**］（［**連写**］時）または［**3D撮影**］のとき
  - 動画のとき
- ［**画像モード**］（□62）が［VGA **640×480**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像モードは［2M **1600×1200**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［**地域と日時**］（□16、⚲47）での設定と同じになります。

「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、［**デート写し込み**］で日時を写し込んでいない画像でも、［**プリント指定**］（⚲35）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。

詳細編

手ブレ補正

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ 手ブレ補正 ➔ ⓪ボタン

撮影するときの手ブレ補正を設定します。望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを補正します。静止画撮影だけでなく、動画撮影時の手ブレも補正します。
三脚などでカメラを固定して撮影するときは、手ブレ補正を［OFF］にしてください。

項目	内容
ON（初期設定）	手ブレを補正します。
OFF OFF	手ブレ補正をしません。

設定は撮影時の画面で確認できます（□6）。［**OFF**］のときは何も表示されません。

手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をONにした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、液晶モニターの画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正の原理上、撮影直後に液晶モニターの画像がずれて見えることがあります。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。

モーション検知

MENUボタン ➔ ¥タブ ➔ モーション検知 ➔ ⓚボタン

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

項目	内容
AUTO （初期設定）	カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。 ただし、以下の場合は、モーション検知は作動しません。 ・ フラッシュが発光するとき ・ （オート撮影）モードで［**ISO 感度設定**］（□49）の ISO 感度を固定したとき ・ （オート撮影）モードで［**マルチ連写**］（➡32）に設定したとき ・ 以下のシーンモードのとき：［**スポーツ**］（□37）、［**夜景ポートレート**］（□37）、［**トワイライト**］（□38）、［**夜景**］（□39）、［**ミュージアム**］（□40）、［**打ち上げ花火**］（□40）、［**逆光**］（□40）、［**ペット**］（□42）、［**3D 撮影**］（□43）
OFF OFF	モーション検知をしません。

設定は撮影時の画面で確認できます（□6）。
カメラがブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、モーション検知表示は緑色に変わります。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

詳細編

モーション検知についてのご注意

- モーション検知を設定しても、撮影状況によっては手ブレや被写体ブレを完全に軽減できないことがあります。
- 極端にブレているときや暗すぎるときは、モーション検知が作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

AF補助光

MENUボタン ➔ ¥タブ ➔ AF補助光 ➔ ®ボタン

暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
AUTO **（初期設定）**	暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約4.5 m、望遠側で約3.0 mです。 ただし、［**AUTO**］に設定していても、［**ミュージアム**］（□40）や［**ペット**］（□42）など、シーンモードによっては点灯しない場合があります。
OFF	AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがあります。

操作音

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ 操作音 ➔ ⓚボタン

操作音について設定します。

項目	内容
設定音	設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。
シャッター音	シャッターをきったときのシャッター音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。 ただし、以下の場合は、［ON］に設定してもシャッター音は鳴りません。 ・［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］（E32）で撮影するとき ・シーンモードの［**スポーツ**］（□37）、［**ミュージアム**］（□40）または［**ペット**］（□42）で撮影するとき ・動画のとき

詳細編

シーンモードの［**ペット**］では、設定音およびシャッター音は鳴りません。

オートパワーオフ

MENUボタン ➔ Yタブ ➔ オートパワーオフ ➔ Ⓚボタン

電源をONにしたまま、カメラを操作しない状態が続くと、節電のために液晶モニターが消灯して待機状態になります（□22）。
このメニューでは、待機状態になるまでの時間を設定します。

項目	内容
オートパワーオフ	［**30 秒**］（初期設定）、［**1 分**］、［**5 分**］、［**30 分**］から選べます。
スリープモード	［**ON**］（初期設定）にすると、［**オートパワーオフ**］で設定している時間内でも、被写体の明るさが変化しない状態が続くと待機状態に入ります。［**オートパワーオフ**］が［**1 分**］以下のときは30秒で、［**5 分**］以上のときは1分で待機状態に入ります。

節電により液晶モニターが消灯したときは

- 待機状態では、電源ランプが点滅します。
- 待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 電源ランプの点滅中は、以下のボタンを押すと液晶モニターが再点灯します。
  →電源スイッチ、シャッターボタン、□ボタン、▶ボタン、または●（動画撮影）ボタン

オートパワーオフの設定について

- 以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。
  - メニュー表示中：3分
  - スライドショー再生中：最大30分
  - ACアダプター EH-67接続中：30分
- Eye-Fiカードを使用した画像の転送中は、待機状態になりません。

メモリー/カードの初期化（フォーマット）

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ メモリーの初期化/カードの初期化 ➔ ⓚボタン

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。
内蔵メモリー/SDカードを初期化すると、内蔵メモリー/SDカード内のデータはすべて削除されます。削除したデータはもとに戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出します。セットアップメニューの項目に［**メモリーの初期化**］が表示されます。

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［**カードの初期化**］が表示されます。

初期化についてのご注意

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

言語/Language

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ 言語/Language ➔ ®ボタン

画面に表示する言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

TV出力設定

MENUボタン ➔ 🔧タブ ➔ TV出力設定 ➔ ®ボタン

テレビとの接続に必要な設定を行います。

項目	内容
ビデオ出力	ビデオの出力方式を［**NTSC**］と［**PAL**］から選べます。［**NTSC**］と［**PAL**］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。
HDMI	HDMI出力時の画像の解像度を［**オート**］（初期設定）、［**480p**］、［**720p**］、または［**1080i**］から選べます。［**オート**］にすると、接続するテレビに対応した解像度を［**480p**］、［**720p**］、または［**1080i**］から自動で選んで出力します。
HDMI **機器制御**	HDMI-CEC規格対応のテレビにHDMIケーブルで接続したときに、テレビからの信号を受信するかどうかを設定します。 ［**ON**］（初期設定）にすると、テレビのリモコンを使って再生中の操作ができます。 →「テレビのリモコンを使う（HDMI 機器制御）」（⚲18）
HDMI 3D**出力**	撮影した3D画像のHDMI機器への出力方法を設定します。 3D（立体）で再生するには、［**ON**］（初期設定）にします。

✔ HDMI、HDMI-CECとは

「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。「HDMI-CEC」とは、HDMI-Consumer Electronics Controlの略で、対応機器間での連携動作を可能にします。

目つぶり検出設定

MENUボタン ➔ Yタブ ➔ 目つぶり検出設定 ➔ Ⓚボタン

以下の撮影モードで顔認識撮影（□65）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- （らくらくオート撮影）モード
- シーンモードの［**ポートレート**］（□36）または［**夜景ポートレート**］（□37）

項目	内容
ON	顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、液晶モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します。 目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます（⊶62）。
OFF（初期設定）	目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

［**目つぶり確認**］画面が表示されたときは、以下の操作ができます。
何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。

機能	内容
目つぶり検出した顔を拡大表示する	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。
1コマ表示に戻る	ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。
表示する顔を切り換える	拡大表示中にマルチセレクターの◀ ▶を押すと、拡大表示する顔が切り換わります。
撮影した画像を削除する	🗑ボタンを押します。
撮影画面に戻る	ⓞボタン、シャッターボタン、◘ボタンまたは●（動画撮影）ボタンを押します。

詳細編

Eye-Fi送信機能

MENUボタン ➔ Yタブ ➔ Eye-Fi送信機能 ➔ ⓀボタンK

市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうか設定します。

項目	内容
有効	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
無効(初期設定)	画像を送信しません。

Eye-Fiカードを使用するときのご注意

- 電波の状態が悪い場合、[**有効**]に設定していても送信できないことがあります。
- 電波の出力が禁止されている場所では、設定を[**無効**]にしてください。
- Eye-Fiカードの使用方法はEye-Fiカードの使用説明書をご覧ください。Eye-Fiカードに関する不具合や質問は、カードメーカーにお問い合わせください。
- このカメラにはEye-Fiカードの通信機能をON/OFFする機能がありますが、Eye-Fiカードの全ての機能を保障するものではありません。
- エンドレスメモリー機能には対応していません。パソコンで設定をしている場合は、OFFにしてください。エンドレスメモリー機能を設定していると、撮影した画像枚数表示が正常に表示されなくなることがあります。
- Eye-Fiカードの送信機能の使用は、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。
- [**有効**]にしていると、電池の消耗は通常より早くなります。

Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内のEye-Fiカードの通信状態は、画面で確認できます(6、8)。

- :[**Eye-Fi送信機能**]が[**無効**]に設定されています。
- (点灯):画像の送信を待っています。
- (点滅):画像の送信中です。
- :未送信の画像がありません。
- :エラーが発生しました。Eye-Fiカードをコントロールできません。

詳細編

使用できるEye-Fiカードについて

このカメラでは、次のEye-Fiカードをお使いいただけます（2011年11月現在）。Eye-Fiカードのファームウェアを最新版にバージョンアップしてお使いください。

- Eye-Fi Connect X2 SDHC 4GB
- Eye-Fi Mobile X2 SDHC 8GB
- Eye-Fi Pro X2 SDHC 8GB

設定クリアー

MENUボタン ➔ Yタブ ➔ 設定クリアー ➔ ⓀボタンOK

［はい］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（□51）	AUTO
セルフタイマー（□55）	OFF
マクロモード（□57）	OFF
露出補正（□59）	0.0

シーンモード

項目	初期設定
撮影モードメニューのシーン設定（□35）	ポートレート
料理モードの色合い調整（□39）	中央
ペットモードの連写（□42）	連写
ペットモードのペット自動シャッター（□42）	ON

ベストフェイスメニュー

項目	初期設定
美肌効果（E27）	ON
笑顔自動シャッター（E28）	ON
目つぶり軽減（E28）	OFF

撮影メニュー

項目	初期設定
画像モード（□62）	16M 4608×3456
ホワイトバランス（E29）	オート
連写（E32）	単写
ISO感度設定（E33）	オート
ピクチャーカラー（E34）	標準カラー

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（E44）	HD 720p（1280×720）
AFモード（E45）	シングルAF
風切り音低減（E45）	OFF

セットアップメニュー

項目	初期設定
オープニング画面（E46）	なし
モニター表示設定（E51）	情報AUTO
画面の明るさ（E51）	3
デート写し込み（E53）	OFF
手ブレ補正（E54）	ON

モーション検知（E55）	AUTO
AF補助光（E56）	AUTO
設定音（E57）	ON
シャッター音（E57）	ON
オートパワーオフ（E58）	30 秒
スリープモード（E58）	ON
HDMI（E60）	オート
HDMI 機器制御（E60）	ON
HDMI 3D出力（E60）	ON
目つぶり検出設定（E61）	OFF
Eye-Fi送信機能（E63）	無効

その他

項目	初期設定
用紙設定（E23、E24）	プリンターの設定
スライドショーのインターバル設定（E38）	3秒

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（E68）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー /SD カード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル番号の連番を「0001」に戻したいときは、内蔵メモリー /SDカード内の画像をすべて削除（□31）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下の項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。
  撮影メニュー：
  ［**ホワイトバランス**］のプリセットマニュアルデータ（E30）
  セットアップメニュー：
  ［**オープニング画面**］として登録した画像（E46）、［**地域と日時**］（E47）、［**言語/Language**］（E60）、［**TV出力設定**］の［**ビデオ出力**］（E60）、［**電池設定**］（E67）

電池設定

MENUボタン ➔ ¥タブ ➔ 電池設定 ➔ ⓀボタンMENU

電池残量表示（□21）を正しく機能させるために、使用する電池の種類に合わせて設定してください。

項目	内容
アルカリ電池（初期設定）	アルカリ単3形電池（LR6）
COOLPIX（Ni-MH）	Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2（ニッケル水素充電池）
リチウム電池	リチウム単3形電池（FR6/L91）

バージョン情報

MENUボタン ➔ ¥タブ ➔ バージョン情報 ➔ Ⓚボタン

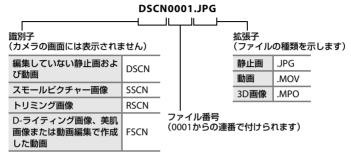
カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

詳細編

記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けられます。

識別子	
編集していない静止画および動画	DSCN
スモールピクチャー画像	SSCN
トリミング画像	RSCN
D-ライティング画像、美肌画像または動画編集で作成した動画	FSCN

拡張子	
静止画	.JPG
動画	.MOV
3D画像	.MPO

- ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号＋NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- パノラマアシストモード（E2）では、撮影のたびに「フォルダー番号＋ P_XXX」という名前のフォルダー（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- 内蔵メモリーとSDカードの間で記録データをコピーする場合（E42）、ファイル名は以下のようになります。
  - 「選択画像コピー」：
    使用中のフォルダー（または次回の撮影で使われるフォルダー）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。

- 「全画像コピー」:
  データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号＋1」から連番で付けられます。
  ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が999のときにファイル数が200個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化（E59）してください。

詳細編

別売アクセサリー

充電器/充電池※1	• バッテリーチャージャー MH-73（Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 × 4 本付き）※2 • 交換用充電池：Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2-B4（4 本入り）
ACアダプター	ACアダプター EH-67※2
USBケーブル	USBケーブル UC-E16※3
オーディオビデオケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP16※3
レンズキャップ	レンズキャップ LC-CP25※3
ハンドストラップ	ハンドストラップ AH-CP1

※1 Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2 を COOLPIX L810 に使う場合は、バッテリーチャージャー MH-73で4本同時に充電してください。また、残量の異なるバッテリーを混用しないでください（☼3）。Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH1は使えません。

※2 日本国内専用電源コード（AC 100 V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお買い求めいただけます。

※3 カメラご購入時に付属しています（□ii）。

警告メッセージ

表示	考えられる原因や対処法	📖
レンズキャップを取り外してから、電源を入れなおしてください	レンズキャップがついているか、レンズの作動不良です。レンズキャップが外れていることを確認してから、電源を入れ直してください。電源を入れ直してもエラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	22
⏲ （点滅）	カメラの時計が設定されていません。 日付と時刻を設定してください。	E47
電池残量がありません	電池を交換してください。	10
AF● （赤色点滅）	ピントを合わせることができません。 ・ ピントを合わせ直してください。 ・ フォーカスロック撮影をお試しください。	26、28 66
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	–
カードがロック されています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。 「Lock」を解除してください。	–
Eye-Fiカードは 書き込み禁止の状態では 使用できません。	Eye-Fiカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。 「Lock」を解除してください。	–
	Eye-Fiカードへのアクセス異常です。 ・ 動作確認済みのカードを使ってください。 ・ カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 ・ カードが正しく挿入されているか確認してください。	 15 13 13

表示	考えられる原因や対処法	📖
このカードは使えません カードに異常があります	SDカードへのアクセス異常です。 • 動作確認済みのカードを使ってください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • カードが正しく挿入されているか確認してください。	 15 13 13
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？ はい いいえ	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。 初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、［**いいえ**］を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。［**はい**］を選んでⓀボタンを押すと、SDカードを初期化できます。	☼5
メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。 • 画像モードを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • SD カードを交換してください。 • SD カードをカメラから取り出し､内蔵メモリーを使ってください。	 62 31、84 13 14
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。 内蔵メモリー /SDカードを初期化してください。	🔗59
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 SDカードを交換するか、内蔵メモリー /SDカードを初期化してください。	🔗68
	オープニング画面に登録できない画像です。 以下の画像は登録できません。 •［**画像モード**］を［**4608 × 2592**］にして撮影した画像 •［**3D 撮影**］で撮影した画像 • スモールピクチャーやトリミングで作成した画像サイズが 320 × 240 以下の画像	🔗46
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	31

表示	考えられる原因や対処法	📖
目つぶり検出した画像を記録しました	記録した画像に目を閉じた人がいるかもしれません。 画像を再生して確認してください。	29、 ⚙28
この画像は編集できません	編集できない画像を編集しようとしました。 • 編集可能な条件を確認してください。 • 動画は編集できません。	⚙8、 ⚙9 –
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	13
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。 • 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SDカードをカメラから取り出してください。 • 内蔵メモリーから SD カードにコピーする場合は、MENUボタンを押すと画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像を SD カードにコピーできます。	13 ⚙42
このファイルは 表示できません	このカメラ以外で作成されたファイルです。 このカメラでは再生できません。 ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	–
表示できる 画像がありません	スライドショーで表示できる画像がありません。	⚙38
このファイルは 削除できません	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	⚙39
自宅と訪問先が 同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	⚙50
フラッシュを上げてください	フラッシュが閉じています。 シーンモードが［**夜景ポートレート**］または［**逆光**］のときは、フラッシュをポップアップして撮影してください。	37、40、 51
撮影に失敗しました	3D画像の撮影で、1コマ目の撮影ができませんでした。 撮影をやり直してください。	⚙5

表示	考えられる原因や対処法	📖
2枚目の撮影に失敗しました	3D画像の撮影で、1コマ撮影後に2コマ目の撮影ができませんでした。 • 撮影をやり直してください。1コマ目の撮影後は被写体がガイドに合うようにカメラを水平移動してください。 • 被写体が暗いとき、コントラストが低いときなど、撮影条件によっては2コマ目を撮影できないことがあります。	➡5 –
3D画像の保存に失敗しました	3D画像が記録できませんでした。 • 撮影をやり直してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 被写体や撮影条件によっては、3D画像を作成できず、画像を保存できないことがあります。	➡5 31 –
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	➡20
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	10、22
プリンターエラー：プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。 プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。 指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：紙詰まりです	用紙が詰まりました。 詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–

表示	考えられる原因や対処法	📖
プリンターエラー： 用紙がありません	用紙がセットされていません。 指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んで🆗ボタンを押し、プリントを再開してください。※	−
プリンターエラー： インクを確認してください	インクに異常があります。 インクを確認した後、［**継続**］を選んで🆗ボタンを押し、プリントを再開してください。※	−
プリンターエラー： インクがありません	インクがなくなりました。 インクを交換した後、［**継続**］を選んで🆗ボタンを押し、プリントを再開してください。※	−
プリンターエラー： ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。 ［**キャンセル**］を選び🆗ボタンを押して、プリントを中止してください。	−

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

付録、索引

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi～ix)をお守りください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所(寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合)にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● 液晶モニターについて

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

● スミアについて

明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに白色または色のついた光の帯が現れることがあります。撮像素子の特性上、強い光が入射すると発生する「スミア」という現象で、故障ではありません。また、スミアの影響で液晶モニターに色ムラが見えることもあります。
マルチ連写と動画以外の撮影では、記録画像にスミアの影響はありません。
マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

電池について

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖ix～xii）をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は使わないでください。
- 残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、電源のON/OFFを何度も繰り返さないでください。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 充電について

別売のリチャージャブルバッテリーをお使いの際は、撮影の前に充電してください。ご購入時にはフル充電されておりません。
バッテリーチャージャーに付属の説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

● リチャージャブルバッテリーの充電について

- 型番の異なるバッテリー、残量の異なるバッテリーを混用しないでください。
- COOLPIX L810にEN-MH2を使う場合は、バッテリーチャージャー MH-73で4本同時に充電してください。MH-73以外の充電器では充電しないでください。
- MH-73でEN-MH2以外の充電池を充電しないでください。
- Ni-MHリチャージャブルバッテリー EN-MH1は使えません。

● ニッケル水素充電池について

- ニッケル水素充電池は、残量がある状態で繰り返し充電すると、メモリー効果（電池容量が一時的に低下したような特性を示す現象）で、［**電池残量がありません**］と早めに表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常に戻ります。
- ニッケル水素充電池の残量は、お使いにならないときでも自然放電で減っていきます。お使いになる直前に充電するようおすすめします。

● 低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭い取ってください。

● 電池の残量について

電池の特性上、残量のなくなった電池でもカメラに入れると、電池の残量が充分にある状態を表示することがありますので、ご注意ください。

● リサイクルについて

使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SDカード以外は使えません。推奨カード→□15
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- SDカードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- SDカードを入れたあとにカメラに［**このカードは初期化されていません。初期化しますか？**］の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、［**いいえ**］を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、［**はい**］を選んでⓀボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
  - 電池/SDカードカバーを開けて、カードや電池を脱着する
  - カメラの電源をOFFにする
  - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。
カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラの電源が突然切れる	• 電池残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。	21 88、⚯58 🔆3
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • 電池残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、📷 ボタン、▶ ボタン、または ●（🎥 動画撮影）ボタンを押してください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがオーディオビデオケーブルまたはHDMI ケーブルで接続されています。	22 21 2、22 52 71、76 71、⚯17
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	88、⚯51 🔆6

付録、索引

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影日時が正しく表示されない	・ 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00　00:00」、動画の撮影日時が「2012/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**地域と日時**］で日時を正しく設定してください。 ・ 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。	16、88、E47
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報OFF**］になっています。	88、E51
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**地域と日時**］が設定されていません。	16、88、E47
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	・ 日付を写し込めない撮影モードになっています。 ・ 動画には写し込みできません。	88、E53
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	16、19
設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	16、19
カメラの温度が高くなる	動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	–

●デジタルカメラの特性について
きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	71、76、⚯17、⚯20
撮影できない	• 再生モードになっているときは、📷 ボタン、シャッターボタン、または ●（🎥 動画撮影）ボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 • 電池残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	29 3 21 52
3D画像を撮影できない	被写体が暗いとき、コントラストが低いときなど、撮影条件によっては、2コマ目を撮影できないことや、撮影した画像を保存できないことがあります。	⚯7

付録、索引

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
ピントが合わない	• 被写体との距離が近すぎます。らくらくオート撮影モード、シーンモードの［**クローズアップ**］、またはマクロモードでの撮影をお試しください。 • オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • 電源を入れ直してください。	34、39、57 28 88、⊶56 22
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • ISO 感度を上げて撮影してください。 • 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	51 49、⊶33 88、⊶54、⊶55 40、49、⊶32 55
液晶モニターに光の帯や色ムラが発生する	明るい被写体にレンズを向けるとスミアが発生することがあります。マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。	49、⊶32、☼3
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュを閉じるか、フラッシュモードを⊛（発光禁止）にしてください。	5、53
フラッシュが発光しない	• フラッシュを閉じているか、フラッシュモードが⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • ベストフェイスメニューで［**目つぶり軽減**］が［**ON**］になっています。 • フラッシュが制限される他の機能が設定されています。	5、51 60 46、⊶28 64

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電子ズームが使えない	• 以下の場合、電子ズームは使えません。 - シーンモードが［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**ペット**］または［**3D 撮影**］のとき - ベストフェイスモードのとき - 撮影メニュー［**連写**］が［**マルチ連写**］のとき	36、37、42、43 44 49、⚭32
［**画像モード**］が選べない	［**画像モード**］が制限される他の機能が設定されています。	64
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。［**ON**］にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 • スピーカーをふさがないでください。	88、⚭57 2
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー［**AF補助光**］が［**OFF**］になっています。［**AUTO**］に設定していても、シーンモードによっては点灯しない場合があります。	88、⚭56
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	💡6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	39、49、⚭29
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	51 49、⚭33

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像が暗すぎる	• フラッシュを閉じているか、フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの［**逆光**］にするか、フラッシュをポップアップしてフラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。	51 23 51 59 49、⚯33 40、51
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	59
赤目以外の部分が補正された	⚡◎（赤目軽減自動発光）や、らくらくオート撮影モード、シーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外のシーンモードかオート撮影モードで、フラッシュモードを⚡◎（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	37、51
美肌の効果が得られない	• 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 • 4 人以上の顔を撮影した画像は、再生メニューの［**美肌**］をお試しください。	45 70、⚯11
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 • 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを ⚡◎（赤目軽減自動発光）にして撮影したとき • 美肌機能で撮影したとき	 – 54 36、37、46
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	–

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • このカメラ以外で撮影した動画は再生できません。	– 85
画像の拡大表示ができない	• 動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。 • このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 • カメラを HDMI 接続して、3D 画像を 3D（立体）で再生しているときは、拡大表示できません。	– – 43
D-ライティング、美肌、スモールピクチャー、トリミングができない	• 動画は編集できません。 • ［**画像モード**］を［**4608 × 2592**］にして撮影した画像、［**3D 撮影**］で撮影した画像の編集や、同じ種類の編集の繰り返しなどはできません。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。	– 70、⚯8、⚯9 70、⚯8、⚯9
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像、および［**3D撮影**］で撮影した画像は、回転できません。	43
動画を編集できない	• 編集で作成した動画の再編集はできません。 • 再生時間が 2 秒未満になる切り出しはできません。 • 内蔵メモリー /SD カードに充分な空き容量がないときや、電池残量表示が ▭ のときは編集できません。	⚯16

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**TV 出力設定**］の［**ビデオ出力**］または［**HDMI**］が正しく設定されていません。 • HDMI ミニ端子と USB/ オーディオビデオ出力端子の両方にケーブルが接続されています。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	88、⚙60 71、76、⚙17、⚙20 13
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2 が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • 電池残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。	22 21 71、76 — 73 76
プリントする画像が表示されない	• 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。 • シーンモードの［**3D 撮影**］で撮影した画像はプリントできません。	13 13 43
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge 対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	71、⚙23、⚙24 —

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX L810

項目		仕様
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		16.1メガピクセル
撮像素子		1/2.3型 原色CCD、総画素数16.44メガピクセル
レンズ		光学26倍ズーム、NIKKORレンズ
	焦点距離	4.0-104.0mm（35mm判換算22.5-585 mm相当の撮影画角）
	開放F値	f/3.1-5.9
	レンズ構成	9群12枚（EDレンズ1枚）
電子ズーム		最大4倍（35mm判換算で約 2340 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正		レンズシフト方式
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	• 先端レンズ面中央から約 50 cm ～∞（広角側）、約 1.5 m ～∞（望遠側） • マクロモード時は先端レンズ面中央から約 1 cm（ズームのミドルポジション）～∞
	AFエリア	中央、顔認識
液晶モニター		広視野角3型TFT液晶、反射防止コート付き、約92万ドット、輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約95%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約 50 MB）、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.3、DPOF、MPF準拠
	ファイル形式	静止画：JPEG 3D画像：MPO 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：LPCMステレオ）

画像モード （記録画素数）		・16M（高画質）［4608 × 3456★］ ・16M［4608 × 3456］ ・8M［3264 × 2448］ ・4M［2272 × 1704］ ・2M［1600 × 1200］ ・VGA［640 × 480］ ・16:9［4608 × 2592］
ISO感度 （標準出力感度）		・ISO 80、100、200、400、800、1600 ・オート（ISO 80 ～ 1600）
露出		
	測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍未満のとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
	露出制御	プログラムオート、モーション検知機能付き、露出補正 （±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
	シャッタースピード	・1/1500 ～ 1 秒 ・4 秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り		電磁駆動によるNDフィルター（－3.3 AV）選択方式
	制御段数	2（f/3.1、f/9.9［広角側］）
セルフタイマー		約 10秒
フラッシュ		
	調光範囲 （ISO 感度設定オート時）	約 0.5～5.0 m（広角側） 約 1.5～2.5 m（望遠側）
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース		Hi-Speed USB
	通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
HDMI出力		オート、480p、720p、1080iから選択可能
入出力端子		オーディオビデオ（AV）出力/デジタル端子（USB）、 HDMIミニ端子（Type C）（HDMI出力）、DC入力端子
言語		日本語、英語の2言語

電源	• アルカリ単 3 形電池、リチウム単 3 形電池のいずれかを各 4 本 • リチャージャブルバッテリーEN-MH2（ニッケル水素充電池）× 4 本（別売） • AC アダプター EH-67（別売）
撮影可能コマ数（電池寿命）※	• 約 300 コマ（アルカリ電池使用時） • 約 740 コマ（リチウム電池使用時） • 約 450 コマ（EN-MH2 使用時）
動画撮影可能時間（電池寿命）	• 約 1 時間 50 分（HD 720p、アルカリ電池使用時） • 約 5 時間 15 分（HD 720p、リチウム電池使用時） • 約 3 時間 10 分（HD 720p、EN-MH2 使用時）
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 111.1×76.3×83.1 mm（突起部除く）
質量	約 430 g（電池、SDメモリーカード含む）
動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

• 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、アルカリ単3形電池使用時のものです。

※ 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23（±2）℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード［**16M 4608×3456**］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。リチウム電池の数値は、市販の「エナジャイザー リチウム乾電池（単3形）」使用時の値です。
付属の電池はお試し用の電池です。

説明書について

• 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
• 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

マーク・英数字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など)、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
  ※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

Nikon

製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞
全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

携帯OK

0570-02-8000
一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 ～ 18:00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。
ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞
下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155　営業時間：9:00～18:00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター＞
230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

携帯OK

0570-02-8200
一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

＜ニコンイメージング／サポートページ＞

- http://www.nikon-image.com/support/
  最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。
  ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。
- http://www.nikon-image.com/support/repair/
  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

CT2E03(10)
6MM25210-03